



第32回総会資料

# 千葉の会の21年度の活動実績と 今後の課題

会場：船橋市勤労市民センター

2022年5月8日(日)

千葉骨髓バンク推進連絡会

会長 梅田 正造



# 千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介①

私たち「**千葉骨髓バンク推進連絡会**」は、白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、**ドナー登録の推進**や**日本骨髓バンク**を支援する活動を行っているボランティア団体です。また、**造血幹細胞移植医療体制の充実**を訴え、県民の皆さまに骨髓バンクについて**正しく理解**して頂くための**普及活動**も行っています。

当会は、**91年2月**に結成され、現在に至っています。会員は患者関係者、医療関係者、一般ボランティアで構成されています。そして一人でも多くの患者さんとその家族が**笑顔を取り戻す日**が来るように、医療講演会・相談会及び「**コンサートと落語会**」の開催、イベント等での宣伝活動、ドナー環境向上のために**ドナー助成制度**及び**ドナー休暇制度**の関係機関への導入要請、千葉県のドナー登録者**2万人**を目標に**献血併行登録会**の開催、パンフレット・会報の発行による**社会啓蒙活動**、**ケア帽子**の病院への寄贈、**いのちの輝き展**開催などを行っています。**20年度に設立30周年**を迎えました。

また、千葉県の公的機関である**千葉県造血幹細胞推進協議会**にボランティア団体の代表として参加しています。



# 千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介②

## 活動内容

- 定例会  
毎月第1日曜日に船橋市市民活動サポートセンター(船橋駅前フェイス5階)にて定例会を開催しています(総会は5月)
- ドナー登録会  
日本赤十字社献血会場での併行登録会に協力(県市町村役場、大学、ショッピングセンター、企業、繁華メッセ、健康祭り、イベントなど)
- 普及啓発活動
  - ①ドナー登録会での普及啓発
  - ②チャリティコンサートと落語会の開催
  - ③会報の作成と各団体、医療機関等への配布
  - ④「あやちゃんの贈り物展」、「MAMOのメッセージ展」、「いのちの輝き展」等の開催
  - ⑤アクアラインマラソン、県内各地の健康祭り、イベント、企業祭り等でのPR活動
  - ⑥街頭キャンペーン  
10月強化月間、各種記念キャンペーン、キャラバン
  - ⑦ポスターの掲示、チラシ・ティッシュの配布、募金箱の設置、報道機関へのイベント掲載依頼
- 各種団体への支援要請
  - ①県、市町村、千葉県赤十字血液センターへのドナー登録促進要請
  - ②ロータリークラブ、ライオンズクラブ、青年会議所等への支援要請
- ドナー支援  
骨髓移植ドナー支援事業、ドナー助成金制度・ドナー休暇制度導入を県市町村、事業者団体等に働きかけ
- 患者支援
  - ①白血病フリーダイヤルへの相談員派遣
  - ②患者家族向け小冊子の配布
  - ③全国骨髓バンク推進連絡協議会に設置されている患者支援基金の紹介
  - ④患者さん用ケア帽子の作製と病院への寄贈



## 始めてみませんか

ボランティアとしてどなたにでも出来る事がいろいろあります。  
“骨髓バンク=登録”だけが全てではありません。さあ、あなたも出来る事から始めてみませんか。

### 会員になる

年会費：3,000円(学生1,000円)

定例会は、毎月1回開催

会員の方には、活動報告やイベントのご案内を掲載した会報を随時郵送致します。

現在、会員数約40名

### 参加する・PRする

何かやってみたくなったらお気軽に声を掛けて下さい。例えば、イベントでのティッシュ配りなど少しでもお手伝い頂ければ助かる事が色々あります。

参加することで新たな交流も生まれます。

日常のPRの一環として、骨髓バンクのポスターやパンフレット、患者支援募金箱を、あなたの会社や学校、お店や事務所などに置いて下さいませんか。

### 募金する

ボランティア団体として地域に根ざした積極的な活動を進めるため、資金面でのご協力を募ります。当会の運営は、会費と皆様からのご寄付によって支えられております。

【郵便振替】00160-6-547168

千葉骨髓バンク推進連絡会 へて

切手、はがき(書き損じも可)などによるご寄付もお受け致します。

### 相談する

(主催：認定NPO法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会)

患者さんや家族のための窓口です。

毎週土曜日10時～16時

白血病フリーダイヤル 0120-81-5929

(第2・第4週は血液内科専門医も相談に応じます)

# 千葉骨髓バンク 推進連絡会

白血病などの血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進やドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行っているボランティア団体です。



全国キャラバンにて千葉県赤十字血液センター訪問 (H27年6月)

〒267-0054 千葉市緑区大高町18-37 北村方

TEL/FAX 043-497-5083

<http://www.marow.or.jp/chiba/>

郵便振替口座 00160-6-547168

ゆうちょ銀行 店番019-0547168





# 千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介③

## 愛と善意を結集した すばらしい骨髓バンクを 築くために

私たち「千葉骨髓バンク推進連絡会」は、白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進や、ドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行っているボランティア団体です。

また、造血幹細胞移植医療体制の充実を訴え、県民の皆さまに骨髓バンクについて正しく理解して頂くための普及活動も行っています。

当会は平成3年2月に結成され、現在に至っています。会員は、患者関係者、医療関係者、一般ボランティアで構成されています。

一人でも多くの患者さんとその家族が笑顔を取り戻す日が来るように、千葉県のだナー登録者2万人を目標に活動しています。

### 普及啓発グッズ

キティのポケットティッシュ



骨髓バンク登録記念 3色ボールペン



スノーバンク（代々木公園）での登録会（11月）



野田夏祭り羅り七夕（8月）



イオン柏店幸せの黄色いレジートキャンペーン



成田市でのチャリティコンサートと講話会（11月）



箱根駅伝（1月）



船橋フェイスでの定例会（第1日曜日）



全国キャラバン 習志野市役所（6月）



郷里マゼフリーマーケットでの登録会（6月）



アクアラインマラソン（10月）



龜田総合体育館での第の本記念植樹



『実情秋夜のパラード』での登録活動



ケア帽子の作成と寄贈



いのちの輝き展開催

### ドナー登録受付は、千葉県内の下記献血ルーム及び献血会場でできます

| 献血ルーム         | 電話番号         | 住所                            | 定休日    |
|---------------|--------------|-------------------------------|--------|
| モノレールちば駅献血ルーム | 043-224-0332 | 千葉市中央区新千葉1-1-1 千葉都市モノレール千葉駅構内 | 年末年始   |
| 運転免許センター献血ルーム | 043-276-3641 | 千葉市美浜区浜田2-1 千葉運転免許センター内       | ※1     |
| 津田沼献血ルーム      | 047-493-0322 | 船橋市前原西2-19-1 津田沼バルコB館6階       | 年末年始※2 |
| 献血ルームフェイス     | 047-460-0521 | 船橋市本町1-3-1 Faceビル7            | 年末年始   |
| 松戸献血ルームPure   | 047-703-1006 | 松戸市松戸1307-1 松戸ビル1階            | 年末年始   |
| 柏献血ルーム        | 04-7167-8050 | 柏市柏2-2-3 榎本ビル5階（1階みずほ銀行）      | 年末年始   |

※1 毎週土曜日、祝日、12月29日～1月31日 ※2 商業施設の休館日

骨髓バンク登録についてのお問い合わせは（公財）日本骨髓バンクへどうぞ 03-5280-1789



# 全国骨髓バンク推進連絡協議会①

特定非営利活動法人・**全国骨髓バンク推進連絡協議会** (略称: 全国協議会)には、日本全国で骨髓バンク推進のために草の根運動を展開している**ボランティア団体が会員として加盟**しています。

その加盟団体は主に都道府県単位で一つの団体を構成しています。**2022年3月現在の加盟団体数は34団体、協力団体は36団体**です。

全国協議会も**20年度に設立30周年**を迎えました。

**千葉骨髓バンク推進連絡会 (千葉の会)** は、全国骨髓バンク推進連絡協議会の会員です。

千葉の会の**会長 梅田正造**は、**全国協議会の副理事長**を務めています。また**厚生労働省**の造血幹細胞移植委員会委員、造血幹細胞移植医療体制整備事業選定\_評価会議委員、**日本骨髓バンク**の評議員、**千葉県の千葉県造血幹細胞移植推進協議会委員**等に就任しています。



仲田順和 会長  
(13年6月就任、  
醍醐寺座主)



田中重勝 理事長  
(17年7月就任)  
岐阜の会代表

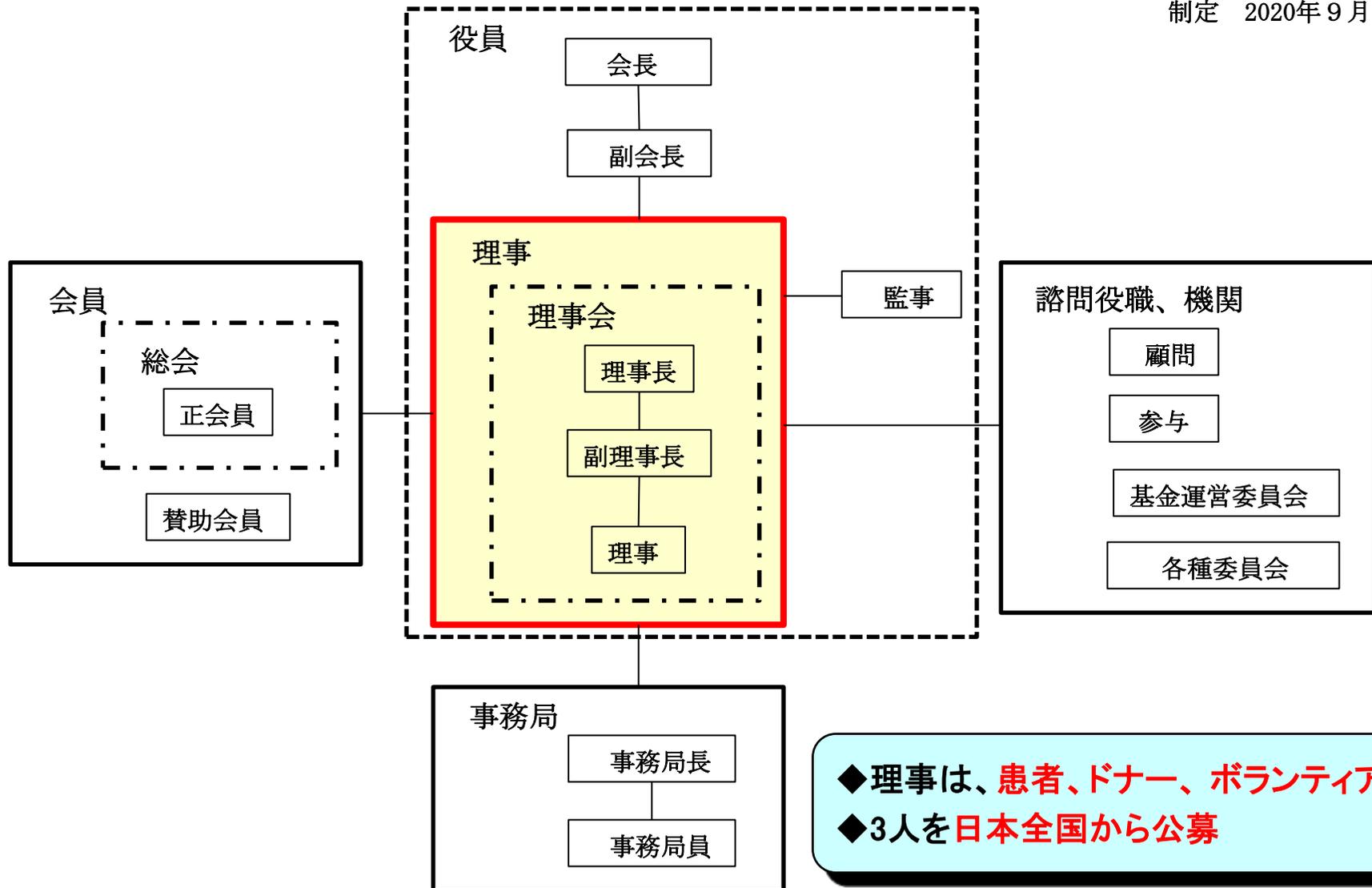


梅田正造 副理事長  
(17年7月就任)  
千葉の会会長



# 全国協議会の組織図

制定 2020年9月13日



◆理事は、患者、ドナー、ボランティア等多岐  
◆3人を日本全国から公募



# 全国協議会の役員、顧問、参与

2021年7月～2023年6月

会 長 : 仲田順和

副会長 : 大谷貴子、渋谷俊徳、野村正満

理事長 : 田中重勝

副理事長: 村上忠雄、若木換、梅田正造、山村詔一郎

理 事 : 畠山茂房、菅早苗、館野守男、服部真樹、  
浅野祐子、山口明大、糸数美智子、  
北折健次郎、山崎裕一

監 事 : 一樂邦彦、黒部光司

顧 問 : 岩城光英、岡村正、鎌田薫、谷口修一、  
東井朝仁、陽田秀夫



# 全国協議会の理事の役割分担

2021年7月～2023年6月

①理事長、副理事長、理事全員で対応：ボランティアの集い

②理事長・副理事長等 で対応

1) 理事会、会計監査、寄付金受領：理事長、副理事長(若木、梅田、村上、山村)

2) 提言・要望、関係機関との連携(財団、日赤):理事長、副理事長、山崎裕一

③副理事長の役割り分担し、理事の応援を得て対応する

1) 患者支援事業

◆フリーダイヤル：若木 換

◆佐藤きち子患者支援基金：若木 換、菅 早苗、館野守男

◆このとりマリン基金：若木 換、菅 早苗、浅野祐子

◆志村大輔基金：若木 換、菅 早苗、服部真樹

2) 協議会ニュース編集：山村 詔一郎、梅田 正造、系数美智子、館野守男、畠山茂房

3) 事務局関係

◆会計：村上 忠雄

◆箱根駅伝：村上 忠雄、山村詔一郎、山崎裕一

◆東京マラソン：梅田 正造、村上 忠雄、山口明大、山崎裕一

◆ホームページ：梅田 正造、浅野祐子、服部真樹

④理事での役割分担

1) 学会、国際交流、APBMT, WBMT：北折健次郎

2) 加盟団体支援・ブロックセミナー

北海道地区 畠山茂房、東北地区 菅 早苗、関東甲信越地区 館野守男、東海北陸地区 服部真樹、近畿地区 浅野祐子、中四国地区 山口明大、九州地区 系数美智子

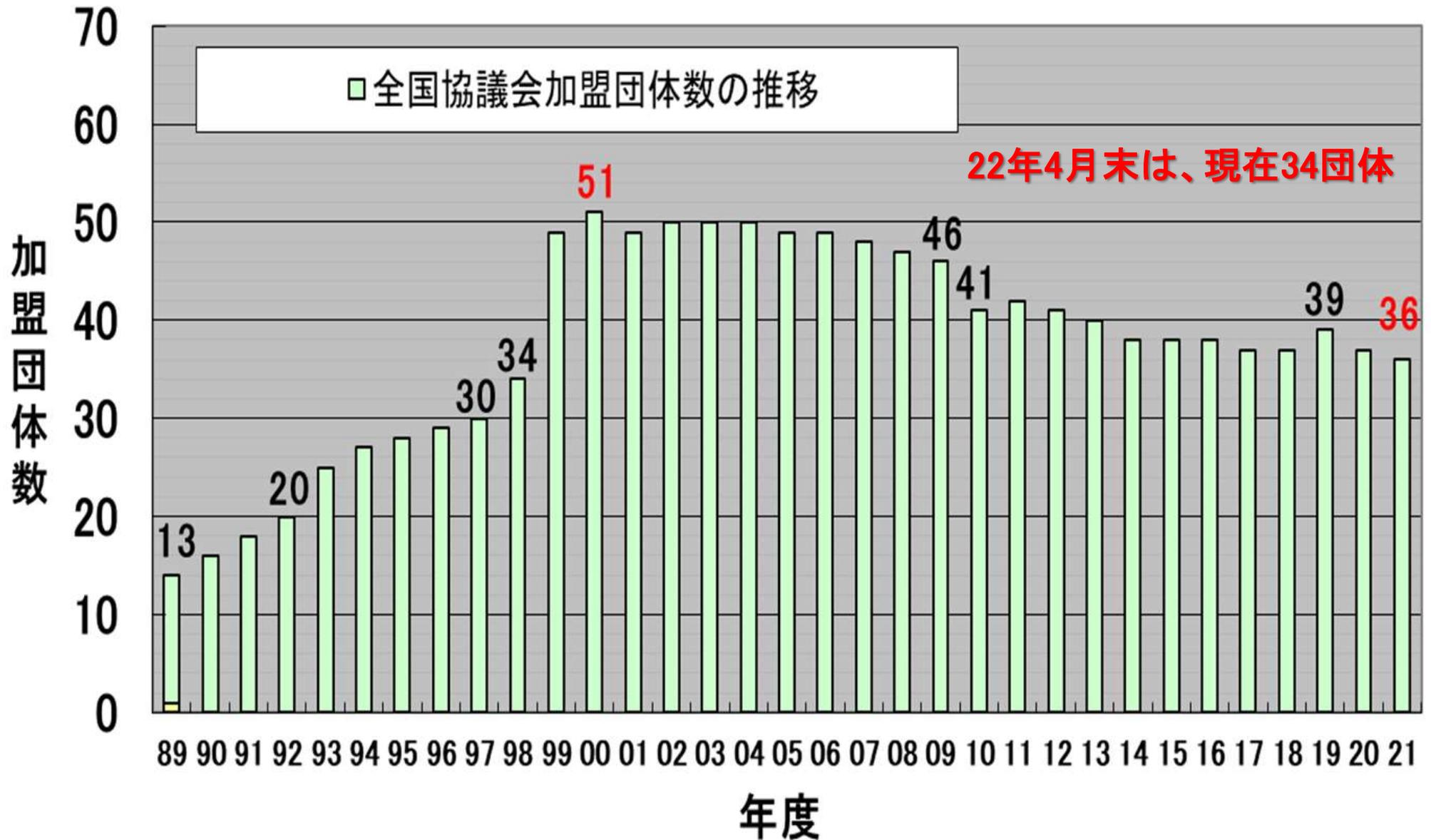


# 全国協議会と骨髄バンクの歩み

- ◆1987年12月 骨髄バンク設立を求める運動を開始
- ◆1989年9月 **民間の東海骨髄バンク設立**と骨髄移植実施
- ◆1990年6月 13団体加盟で全国協議会発足
- ◆1991年12月 **公的骨髄バンク設立** (骨髄移植推進財団、現日本骨髄バンク)
- ◆1993年1月 公的骨髄バンクによる第1例目の骨髄移植実施
- ◆1995年9月 **佐藤きち子患者支援基金を創設**
- ◆1996年7月 白血病フリーダイヤルで患者電話相談を開始
- ◆2010年4月 全国協議会、認定NPO法人資格取得
- ◆2013年1月 **志村大輔基金を創設**
- ◆2013年11月 **こうのとりのマリン基金を創設**
- ◆2019年2月 ドナー登録者 50万人達成
- ◆2020年6月 **全国協議会設立30年**
- ◆2020年12月 骨髄移植 25,000例達成
- ◆2021年3月 さい帯血移植20,000例達成

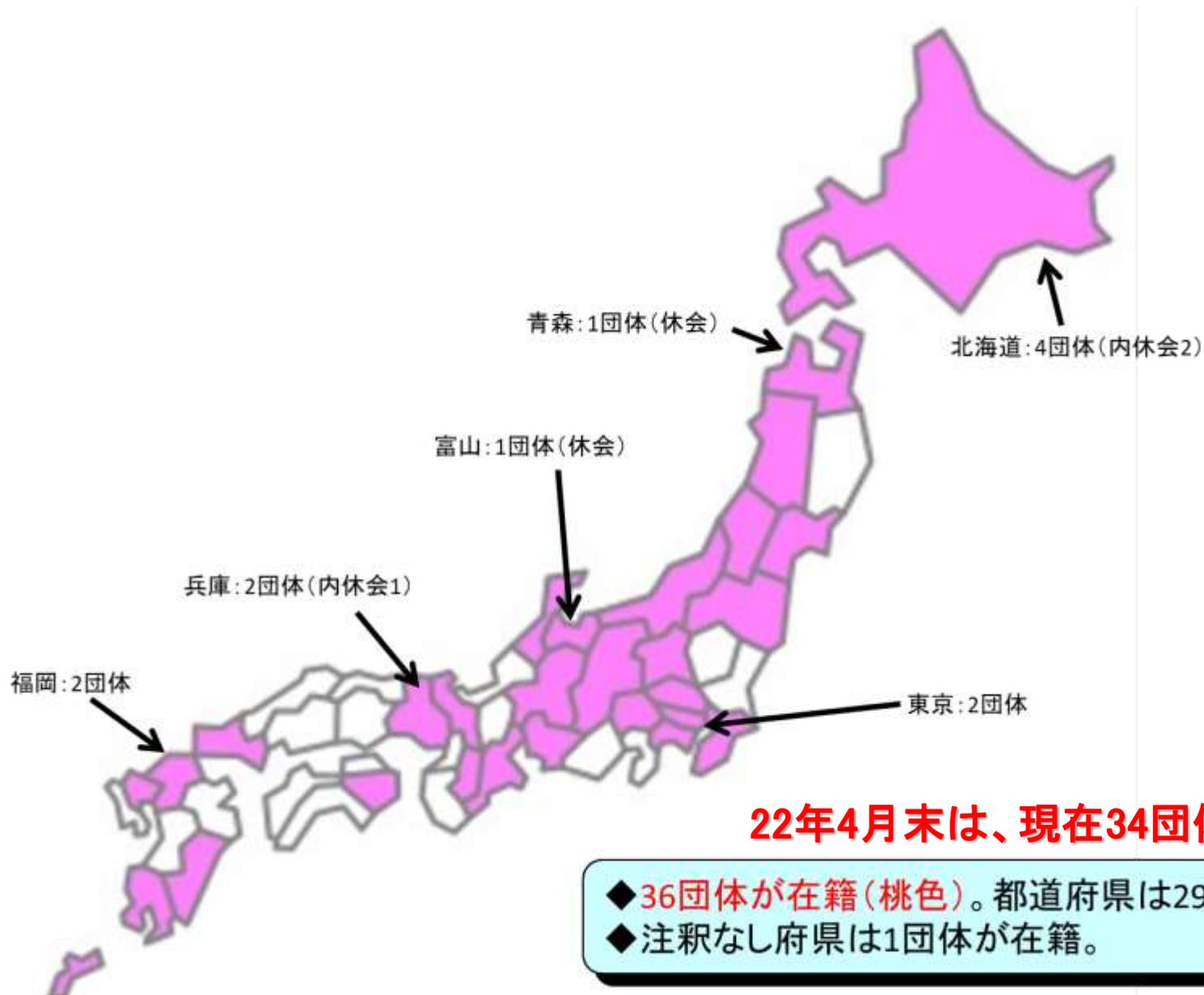


# 全国協議会加盟団体数の推移





# 全国協議会会員在籍都道府県（2021年度現在）



**22年4月末は、現在34団体**

- ◆ 36団体が在籍（桃色）。都道府県は29。
- ◆ 注釈なし府県は1団体が在籍。



# 全国協議会の主な活動内容①

1. **骨髄ドナー登録推進支援活動と普及啓発活動**
2. **患者・家族の支援活動**
  - ①病気情報ハンドブックの発行・配布
  - ②白血病フリーダイヤルの設置・運営
  - ③患者支援基金による経済的助成活動  
(今回のクラウドファンディングに関係)
3. **ドナー支援活動**
  - ①パンフレットの配布
  - ②ドナーサポートダイヤルの設置・運営
  - ③ドナー休暇制度、ドナー助成制度の促進活動
4. **骨髄バンク及び医療充実の要望活動**



# 患者支援基金による経済的助成活動①

- ◆当協議会は**血液難病の患者さん**を経済的に支援する**3つの基金**を運営しています。
- ◆昨年**2020年度**は延べ**110人**の方に、**総額7,499千円**の助成を行いました。

## 佐藤きち子記念造血細胞 移植患者支援基金

♥骨髄移植にどのくらい費用がかかるか不安でしたが基金のおかげで**費用の面で安心**して移植を受ける決心ができました。  
(患者さんの夫)

## 志村大輔基金 (分子標的薬・精子保存支援)

♥思春期の息子に**精子保存**の話をするのはとても勇気のいることでした。でも、なくてはならないと思い、話し合いました。息子は「将来後悔したくない」この言葉で前に進むことができました。必ず回復すると思っています。前へ前へ気持ちも明るく進んでいきます。  
(患者さんの母)

## こうのとりのマリン基金 (未受精卵子保存支援)

♥子どもの病気で必要な**卵子採取**に対し保険が適用されないのは残念でしたが、このような助成がある事を聞き、本当に助かりました。多くの方がこの助成の事を知り、困っている方が少しでもお金の面で助かります様に…  
(患者さんの母)



# 患者支援基金による経済的助成活動②

**佐藤きち子記念造血細胞  
移植患者支援基金**



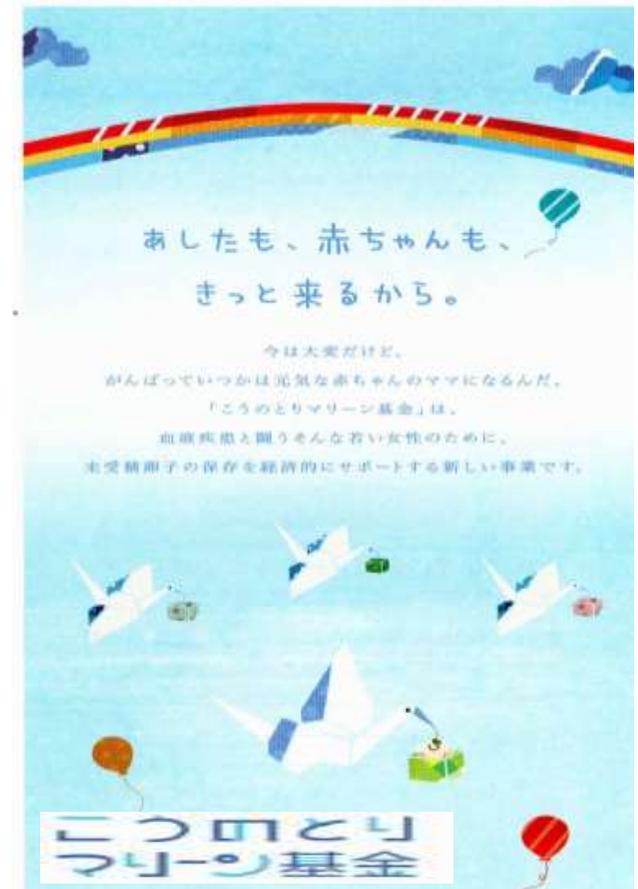
1995年9月～2021年3月  
累計助成305件、85,244千円

**志村大輔基金  
(分子標的薬・精子保存支援)**



2013年1月～2021年3月  
累計助成532件、26,517千円

**こうのとりのマリーン基金  
(未受精卵子保存支援)**



2013年11月～2021年3月  
累計助成33件、6,609千円



# 病気情報ハンドブックの発行・配布

◆病初期の患者さんとご家族向けの**ハンドブック「白血病と言われたら」**の改訂第6版を**2020年に発行**しました。上巻と下巻の構成になっています。

ホームページ(<https://www.marow.or.jp/>)から**ダウンロード**できます。

1999年8月初版発行、2021年3月までの累計発行数56,000セット、総ダウンロード数2,424件



## 上巻「白血病と闘おう」

これから白血病と闘うために必要な情報を多岐にわたり掲載

A4サイズ 188ページ フルカラー

## 下巻「血液の病気を知ろう」

血液の病気についてさらに詳細な解説や治療法について掲載

A4サイズ 264ページ フルカラー

ダウンロードの方法は2つあります。  
選択してクリックしてください



# 白血病フリーダイヤルの設置・運営

◆血液疾患患者さんとそのご家族のために、患者電話相談窓口「**白血病フリーダイヤル 0120-81-5929**」を1996年7月から開設しています。2021年3月までの受付相談累計 8,812件

**白血病フリーダイヤル**

やまい こくふく

**0120-81-5929**

毎週土曜日  
午前10時～午後4時

※毎月第2・第4土曜日は  
血液専門医も  
ご相談をうかがいます。

♥「白血病フリーダイヤル」のおかげで**今の僕**があります。(患者)

♥ 私が患者だった時、なぜここに行きつかなかったのだろうと今更ながらに思います。誰かに聞くのも恐ろしくて、ネットばかり眠れぬ夜にひとり検索していました…。病院で「こういうのがあるよ」と看護師さんや先生に一言教えてもらえたら良かったな、と思います。**生の声ほど心強い**ものはありません。ひとりでも多くの患者さんに伝わるといいなと思います。(患者)



# ドナーさんへのサポート

## ◆ドナーサポートダイヤルの設置・運営

骨髓バンクのドナー(希望者・登録者・候補者・経験者)が抱える様々な疑問について、事務局でお受けしいてます。

**0120-892-106**

相談の受付日時: 月～金曜日 10:00～17:00 (祝日等を除く)

## ◆パンフレット配布

「ドナーになるってどんなこと？」  
(本人 編)(家族&職場 編)  
を作成しました。

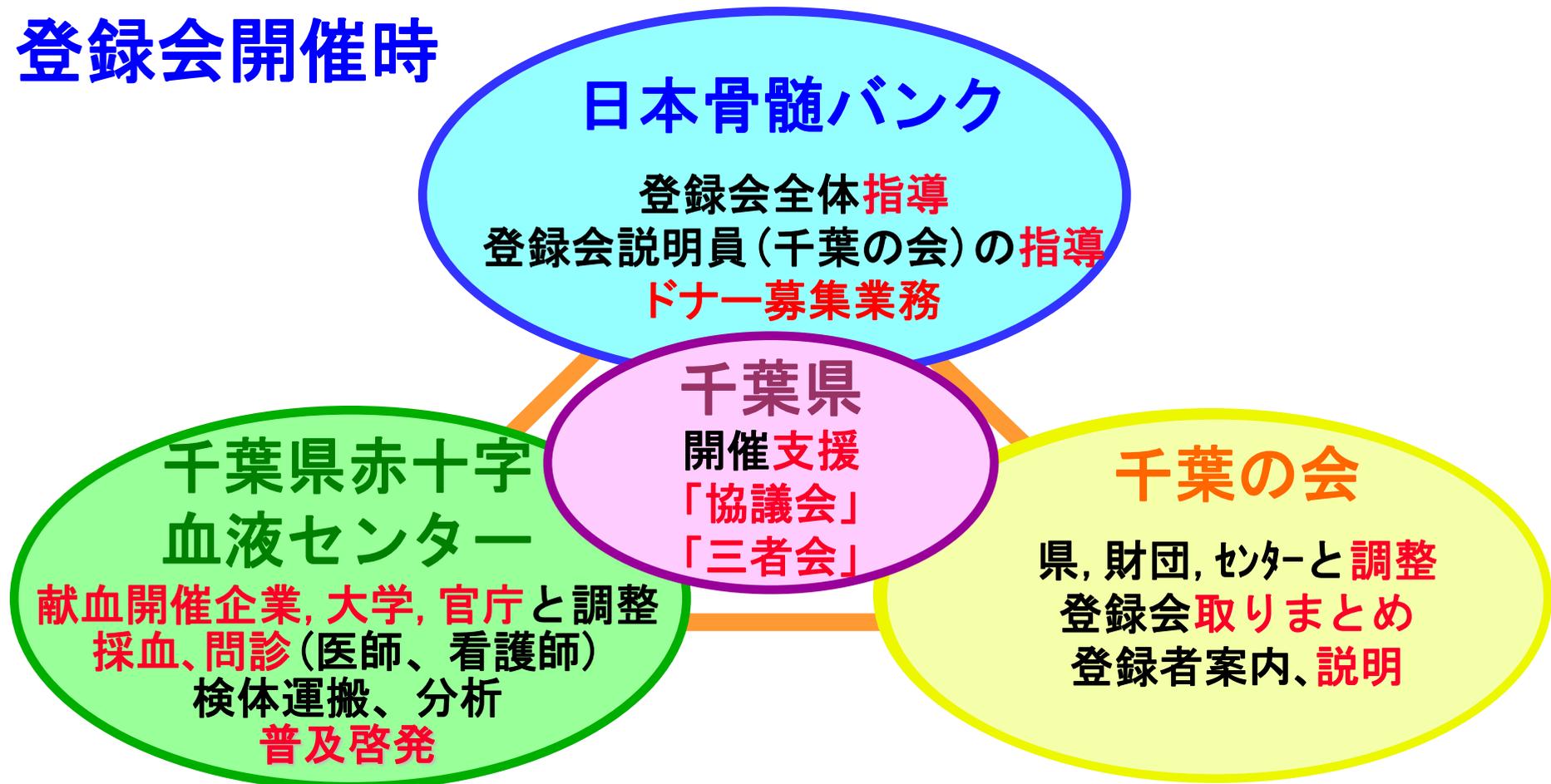






# 日本骨髓バンク、血液センター、県、千葉の会の関係

## 登録会開催時



「協議会」：千葉県造血幹細胞移植推進協議会 1回/年

「三者会」：千葉県（薬務課）、千葉県赤十字血液センター、千葉骨髓バンク推進連絡会（千葉の会）の実務打合せ会議 1～2回/年



## 21年度の総括

2020年の年明けから日本中に蔓延したコロナウイルスは、**2021年度も収まらず第4波、第5波と続き、2022年3月にはオミクロン株の第6波が猛威を奮いました。**2021年度、千葉県では4月20日から5月11日の間、5市にまん延防止等重点措置が発令され、段階的に対象市増（最大12市）と期間延長を重ね、8月2日に緊急事態宣言に格上されました。宣言解除は10月1日になりました。一時落ち着いたものの1月21日に重点措置が出て3月21日の解除まで続きました。21年度は**多数の行事が中止、延期、ZOOM開催**になりました。

### ◆中止、延期になった行事

- ①**骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会** ②**東京マラソン**での支援活動 ③箱根駅伝での普及啓発 ④野田夏まつり躍り七夕で普及啓発と説明会 ⑤幕張メッセ「東京オートサロン」「フリーマーケット」での普及啓発と献血併行登録会 ⑥いのちの輝き展 ⑦三者会

### ◆ZOOM開催

- ①定例会 ②**千葉県造血幹細胞移植推進協議会**

◆長年の要望事項「**説明員募集**」に対して熊谷知事から**定例記者会見、「ちば県民だより」**で支援があった。**9名の方にドナー説明員研修会**を実施し、**7名の方が千葉の会に入会**した。

◆**ドナー助成制度**導入は2市のみだった。54市町村中**49市町**が導入済となり、**導入率91%**。

◆**ドナー休暇制度**導入活動は、**首長、県市町議会議員**に支援を要請した。

◆11月13日(土)、14日(日)、代々木公園で**スノーバンク(東京雪祭)登録会**を関東4団体と共催した。**登録者121名、献血者402名**だった。

◆**ケア帽子製作**は、日赤奉仕団の方々の支援を受け順調。**10病院へ580個**寄贈した。

◆**献血併行型登録会**の年間回数は235回→332回→369回と増加していたが、コロナで**昨年161回と激減**した。21年度も**224回**と戻っていない。



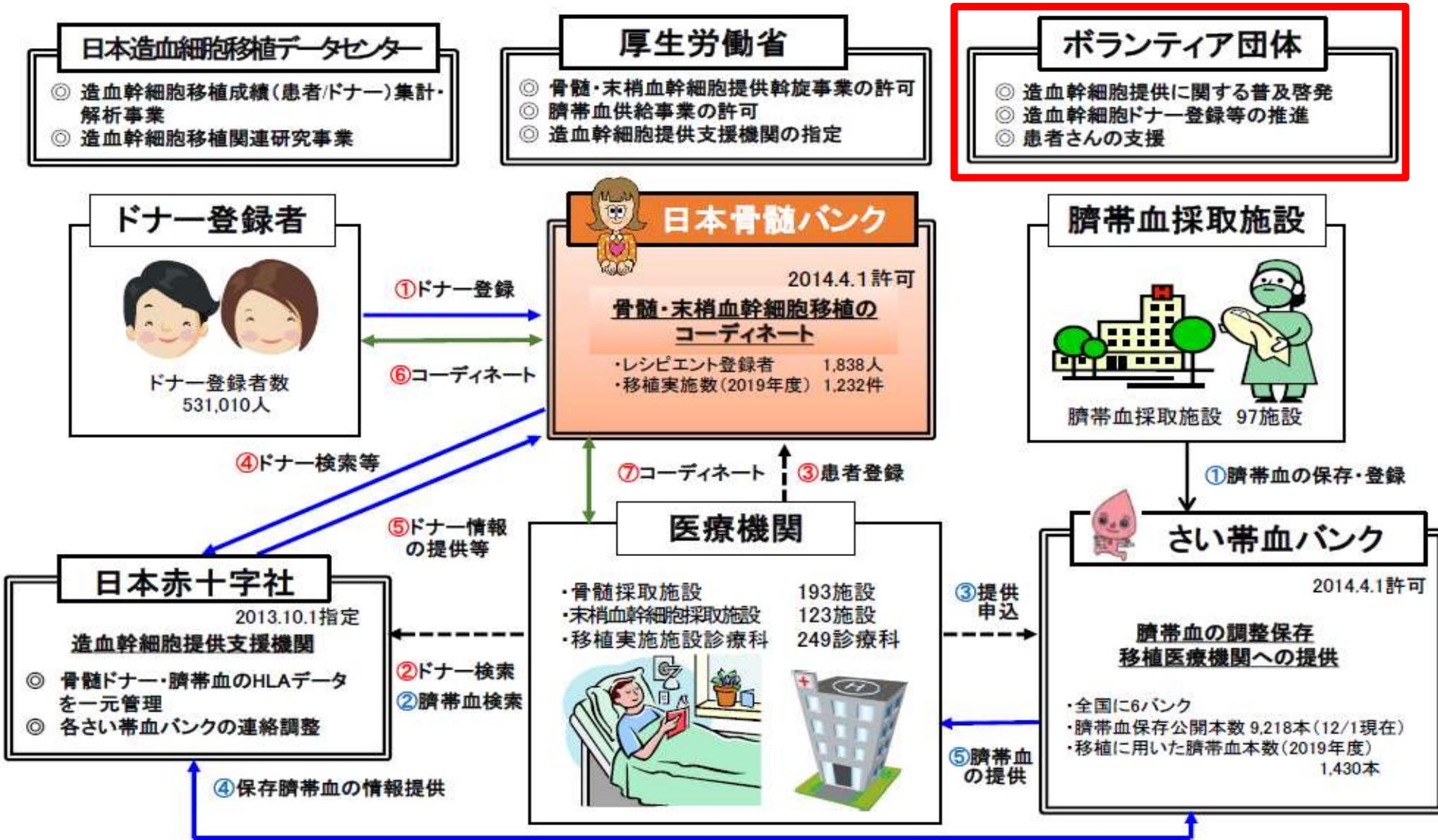
## 骨髄バンク／日本の現状

- ◆日本では毎年約**10,000名**が、**白血病**や**再生不良性貧血**という重い血液の病気を発病。
- ◆薬で治癒しない約**2,000名**が、**移植**を希望
- ◆日本のドナー登録者は、**22年3月末で537,820名**（千葉県**18,682名**）
- ◆日本骨髄バンクを介して移植を希望した患者さんの約**60%弱**しか移植を受けられていません。全ての患者さんが移植を受けられるようにするため、今後も一人でも多くの方の**ドナー登録が必要**です。  
**千葉県目標 20,000名**  
→ **ドナー登録会**を多く開催  
(献血時の声掛け、若年層ドナー増が重要)



# 造血幹細胞移植の実施体制 (2020年11月末現在)

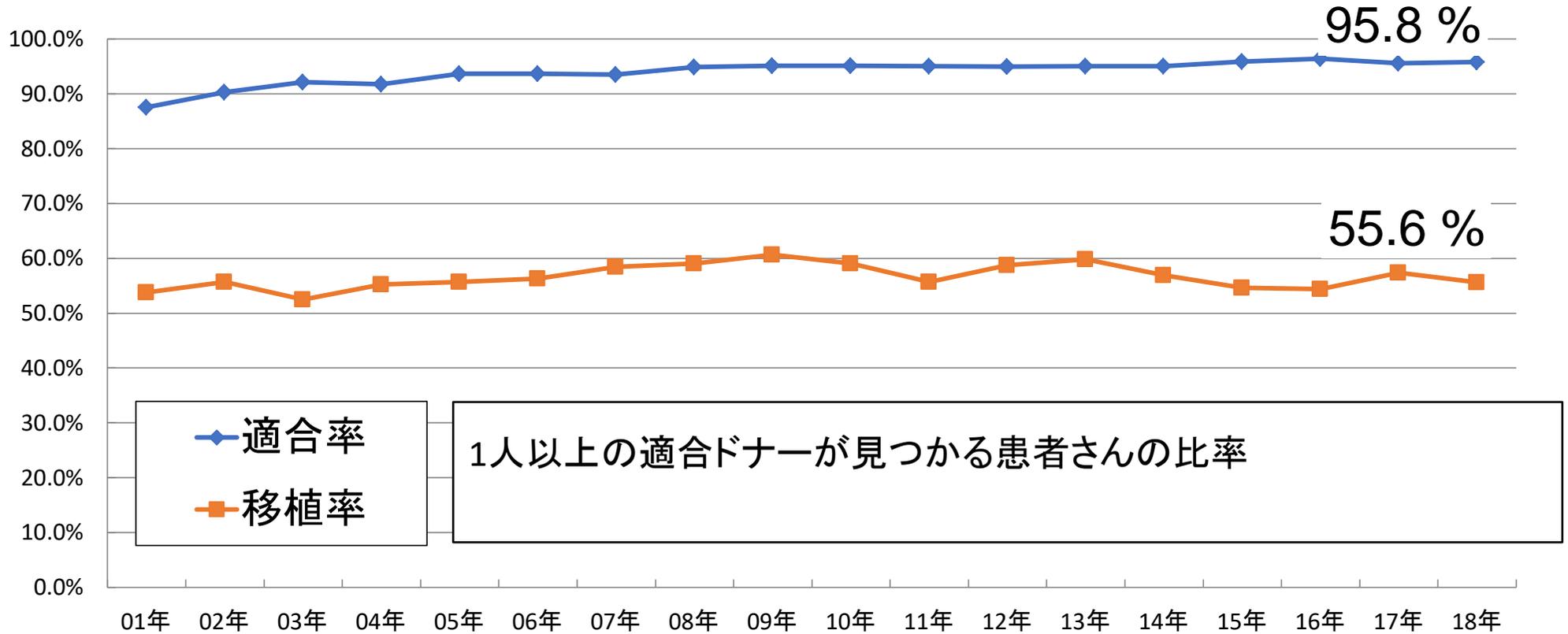
21年2月2日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料





# 国内患者のHLA（白血球の型）適合率と移植率

日本赤十字社、日本骨髄バンク調べ

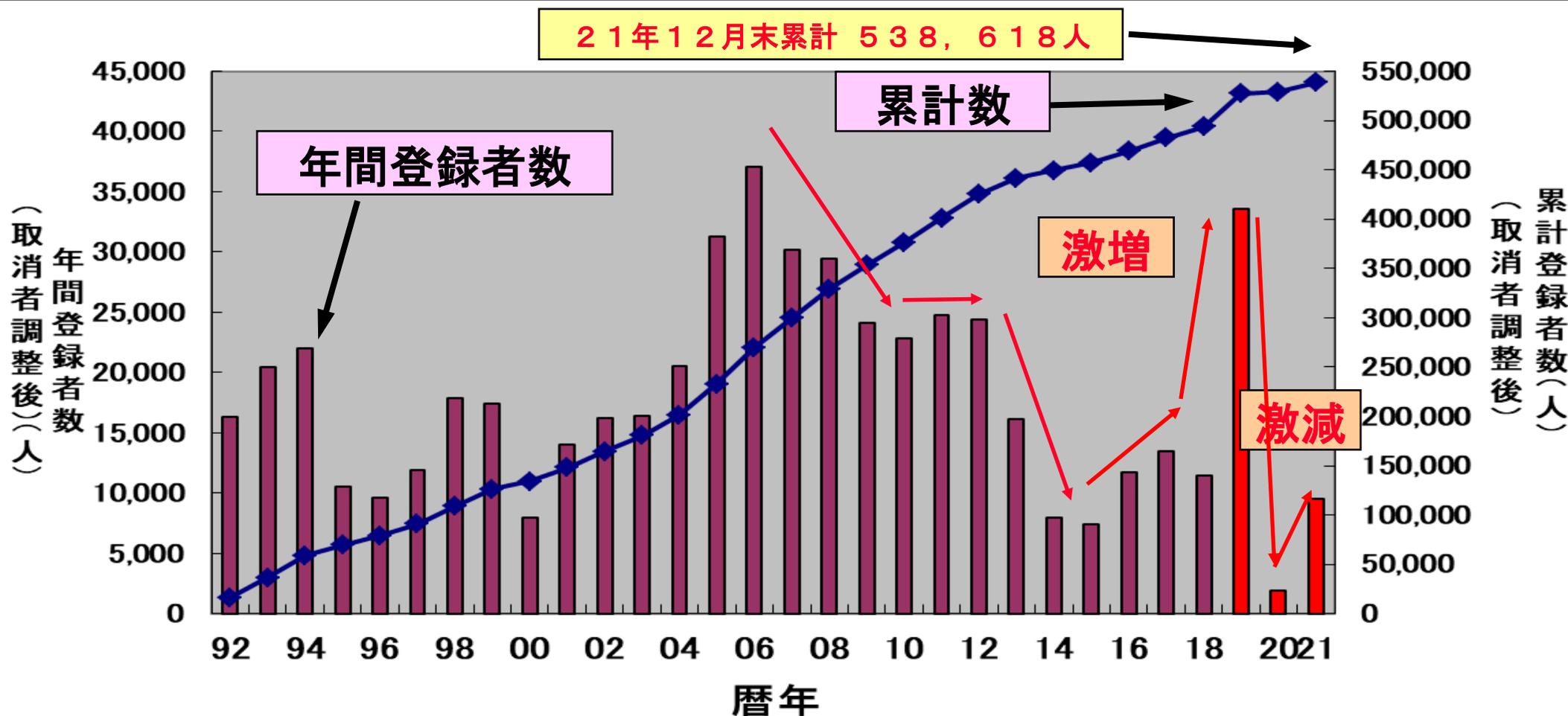


※移植率は、年間の新規患者登録数に対する移植数(国内ドナー+海外ドナー)の割合

◆日本骨髄バンクを介して移植を希望した患者さんの約60%弱しか移植を受けられていません。



# 全国のドナー登録者数実績

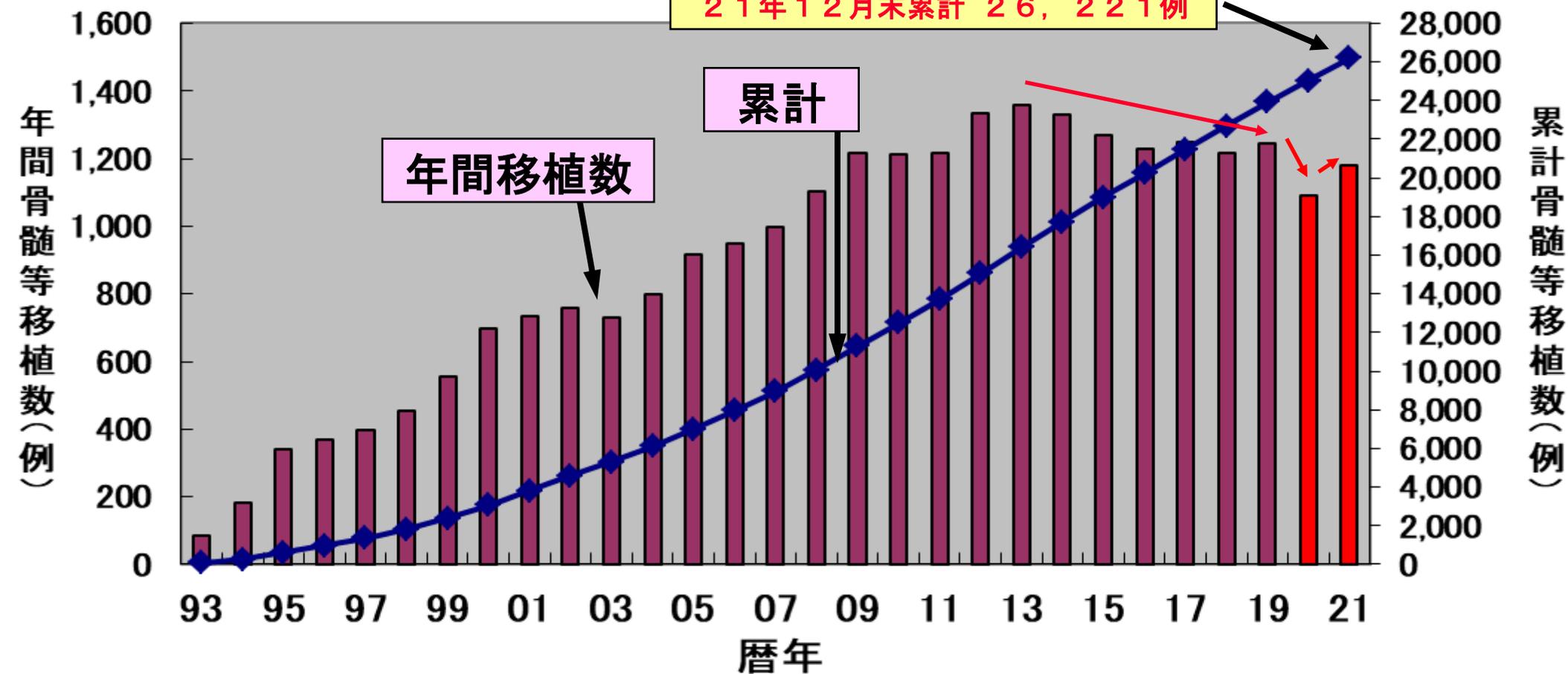


- ◆06年以降、広告機構広報が無くなった影響等で15年まで減った。
- ◆19年は池江璃花子さん効果で激増。20年はコロナ禍で激減。
- ◆21年は盛り返してきたが今一步。21年12月末、累計538,618人。



# 全国の骨髄・末梢血幹細胞移植実績

21年12月末累計 26,221例



◆年間移植数(暦年)は、13年に**過去最高(1,360例)**を更新。その後、**さい帯血移植**の増加等の影響もあり**若干減少傾向**。その後も**コロナ禍**で更に**減少**。21年12月末、**累計26,221例**。



# 造血幹細胞移植実績の推移（非血縁者間）

21年3月3日 第58回（厚生労働省）造血幹細胞移植委員会資料

※骨髄移植等とは、骨髄移植と末梢血幹細胞移植をいう。

※末梢血幹細胞移植は平成22年10月より導入されており、令和2年3月末現在、925例が実施されている。

※移植件数は各年度末現在の数値。

(単位：件)

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

- 造血幹細胞移植術（3種）の合計件数は、近年ほぼ横ばい
- 平成27年度以降の移植件数は、「臍帯血移植」が「骨髄・末梢血幹細胞移植」を上回る傾向

■ 骨髄移植等 ※  
 ■ 臍帯血移植  
 ▲ 総計

造血幹細胞移植法施行

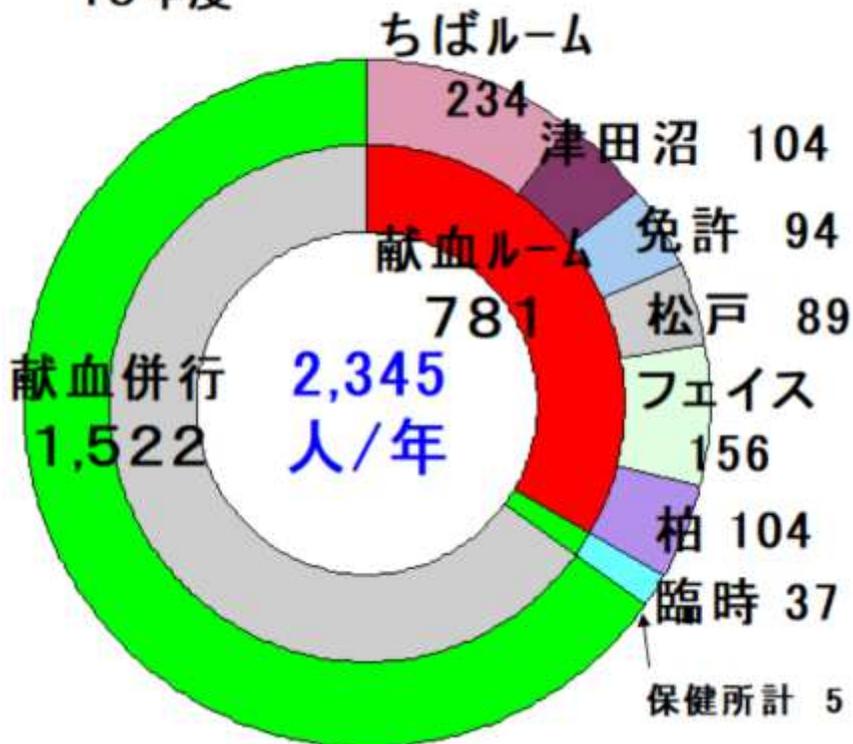
H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R126 (年度)

(年度)



# 21年度千葉県のドナー登録実績

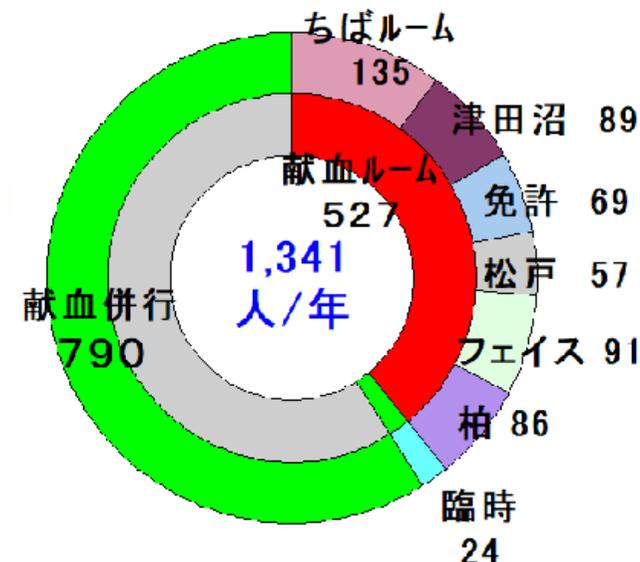
19年度



20年度



21年度

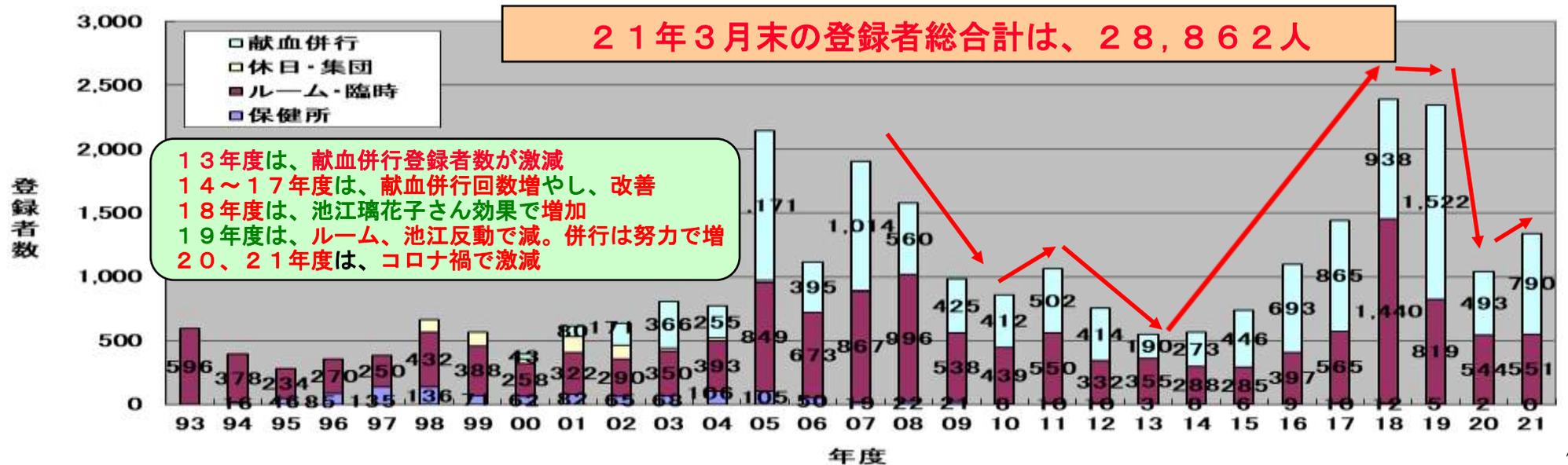
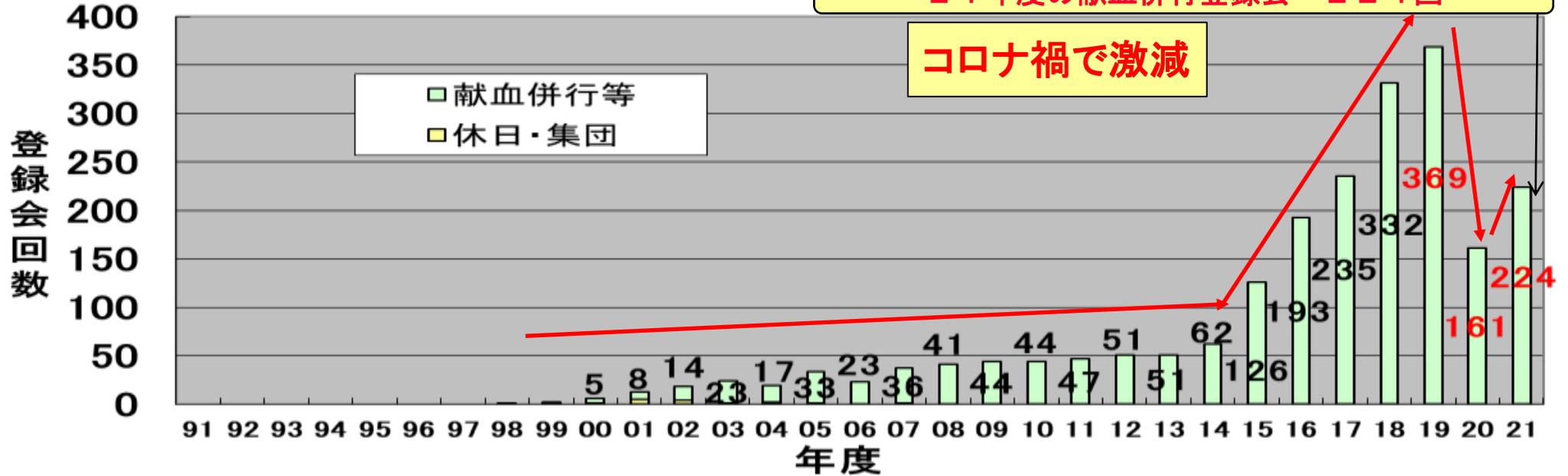


|      | 献血ルーム | 献血併行         | 他   | 計      |
|------|-------|--------------|-----|--------|
| 19年度 | 781人  | 1,522人(369回) | 42人 | 2,345人 |
| 20年度 | 518人  | 492人(161回)   | 28人 | 1,039人 |
| 21年度 | 527人  | 790人(224回)   | 24人 | 1,341人 |

◆ 19年度は、**献血併行の頑張。** 20年度は、**コロナのため激減。**  
 21年度は、**やや持ち直しつつあるがまだまだ。**

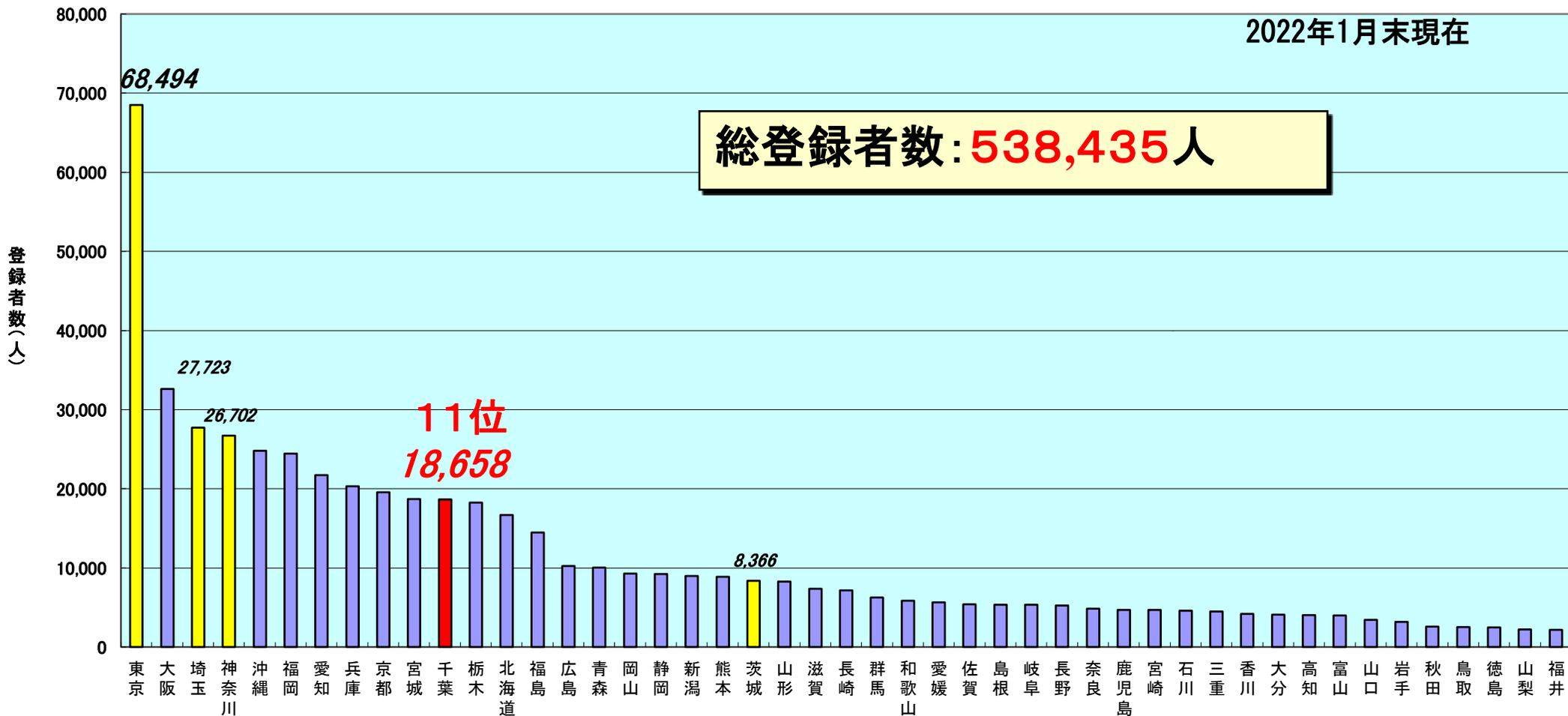


# 千葉県の年度別登録者数と登録会回数





# 都道府県別 ドナー登録者数

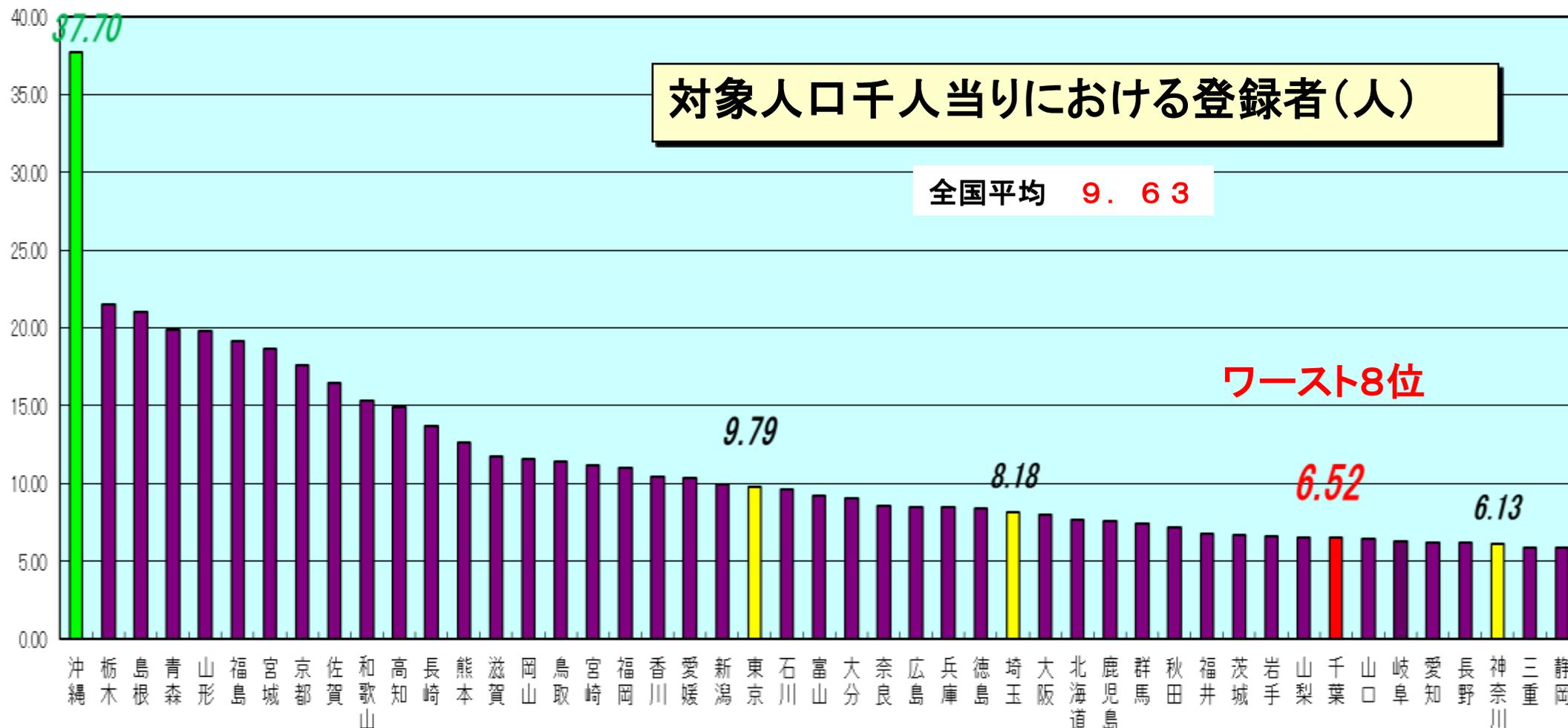


◆千葉は13～18年14位、19年13位、20年・21年12位、**22年11位**。  
 ◆東京**1位**変わらず。埼玉2→3位、神奈川3→4位にダウン。



# 都道府県別 ドナー登録者割合比較

2022年1月末現在

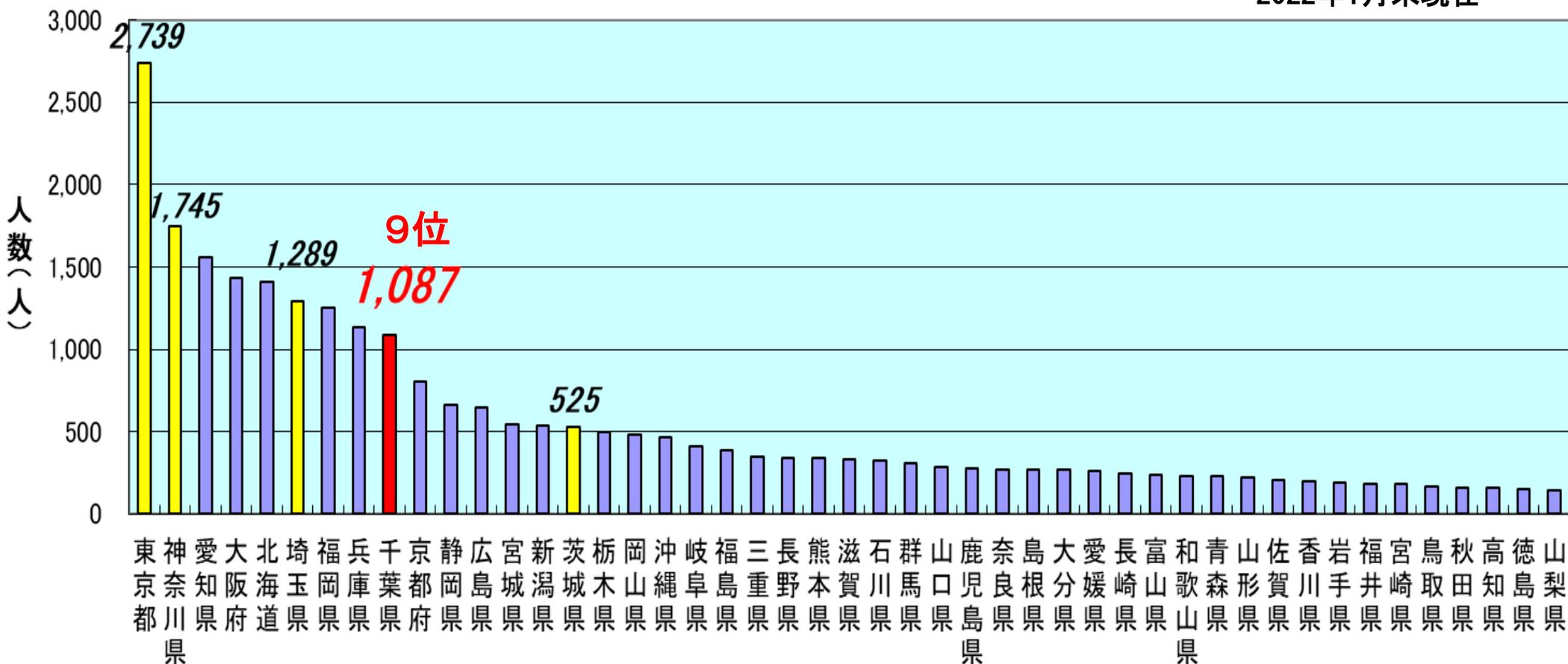


- ◆千葉県は、19～21年ワースト7位。22年はワースト8位に改善。  
(全国ワースト:21,20,年7位、19年10位、18年7位、17年6位)
- ◆沖縄は、他を凌駕する1位(37.70)継続。



# 都道府県別 骨髄液提供者数

2022年1月末現在



◆千葉県の骨髄液提供者数は、13年から  
**ベスト9位**。(12,11年8位、10年7位)



# 2021年度(令和3年) 第31回総会

(21.5.9 コロナ禍だったが船橋勤労市民センターで開催)

会場の船橋市勤労市民センター



梅田会長挨拶



20年度業務報告、21年度予算説明



牛島監事による監査報告



円東議長の進行



活発な質問と意見交換





# いのちの輝き展

20.1.7~26 大網白里市



19.11.5~20 浦安市役所



19.12.13~19 習志野市



19.11.1~25 市原市役所



19.10.27~11.3 八街図書館



19.4.30~5.13 君津中央図書館



◆ 21年度はコロナ禍で開催できなかった。



# ケア帽子の寄贈と展示

手作りのケア帽子



JR姉ヶ崎駅ギャラリーでの展示  
(18.10.1~10)



ケア帽子と一緒に寄贈した手作りグッズ



- ◆18年度は、10病院に520個寄贈
- ◆19年度は、9病院に500個寄贈
- ◆20年度は、8病院に510個寄贈
- ◆21年度は、10病院に580個寄贈



# 患者サロン 飾り寿司講習会 (16. 6. 26 全国協議会 事務所)

講師： 千葉骨髓バンク推進連絡会の西島一恵さん



出来上がった飾り寿司



# ライオンズクラブ国際協会333-C地区研修会での講演

(20.2.8 千葉県経営者会館)

会場の千葉県経営者会館



講演の様子



講演を聞くライオンズの皆さん



講演の様子



**参加者 120名**



関東・甲信越地区ブロックセミナー (22. 3. 20 コロナ禍のためZOOM開催)



- ◆全国協議会、千葉、東京、神奈川、埼玉、新潟のボランティア18名が参加
- ◆千葉の会は8名参加



# 献血併行登録会（登録手続きの流れ）

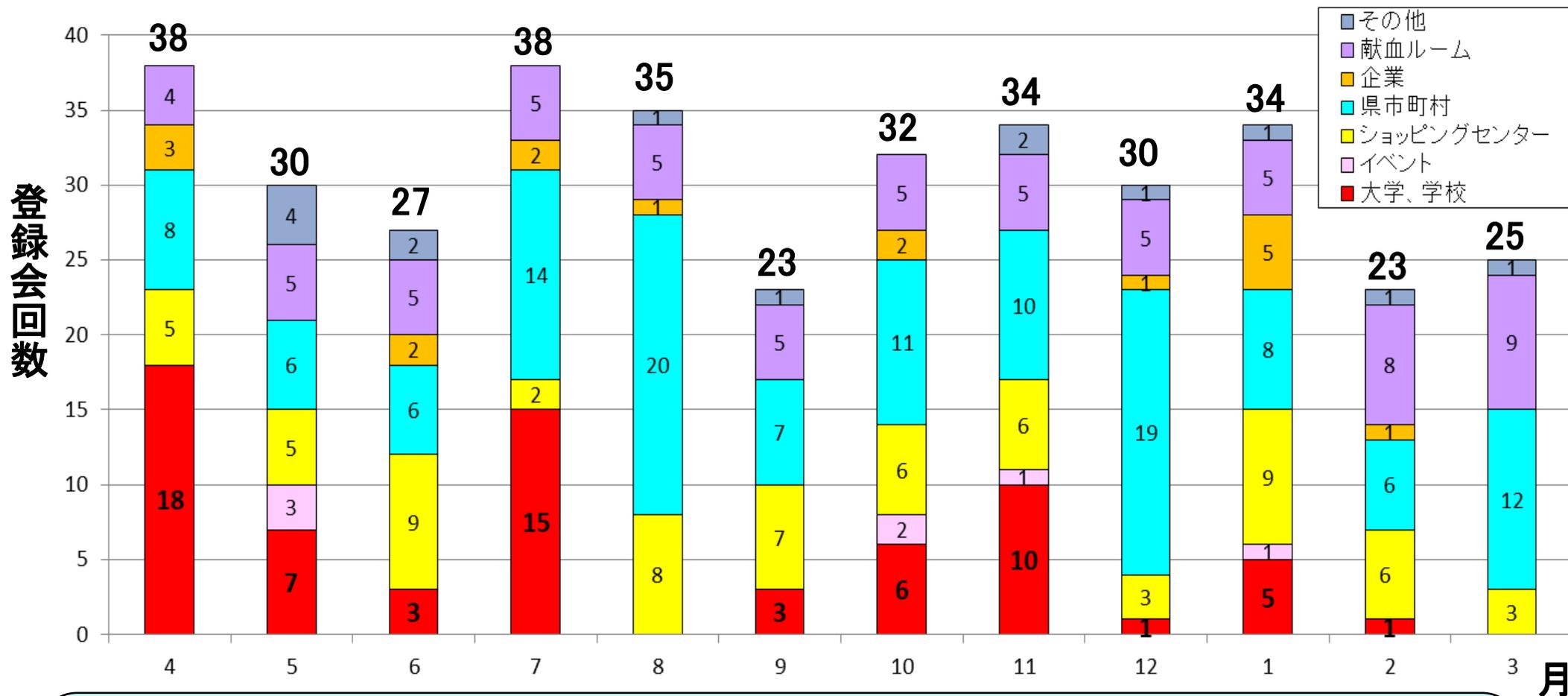
全工程で**15分程度**かかります

- ◆**受付**: 献血受付で献血手続き書類を記入後、登録受付をします。
- ◆**説明**: 説明員（**弊会ボランティア**）が、「登録手続き」記入要領を説明し、記入頂きます。
- ◆**問診、採血**: 千葉県赤十字血液センターの医師が問診をし、看護師が採血します。（献血用とは別に2ml採血して登録は終わりです）
- ◆**献血**: 血液センターの献血会場、献血車で献血下さい。
- ◆**ドナーカード**: 説明終了時にお渡しします。  
（万が一問診で不適と判定された場合は返却下さい）





# 19年度の千葉の種類別献血併行登録会実績

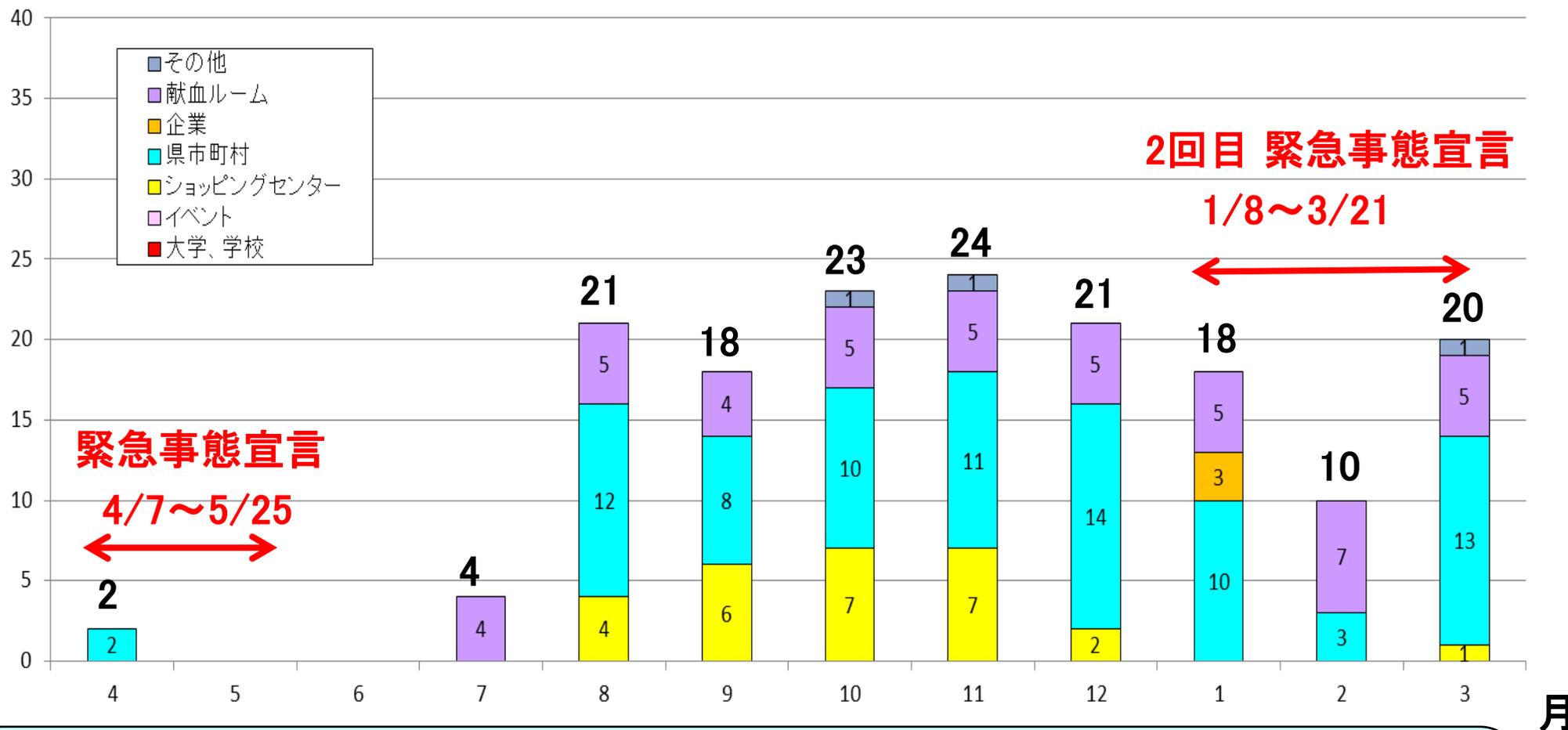


- ◆ 19年度の登録会回数は、過去最高の**369回**になった。
- ◆ **大学での開催**に力を入れている。**69回**開催した。
- ◆ **県市町村127回**、**献血ルーム66回**、**ショッピングセンター69回**。
- ◆ **2,3月はコロナの影響**で登録会がかなり**キャンセル**された。



# 20年度の千葉の種類別献血併行登録会実績

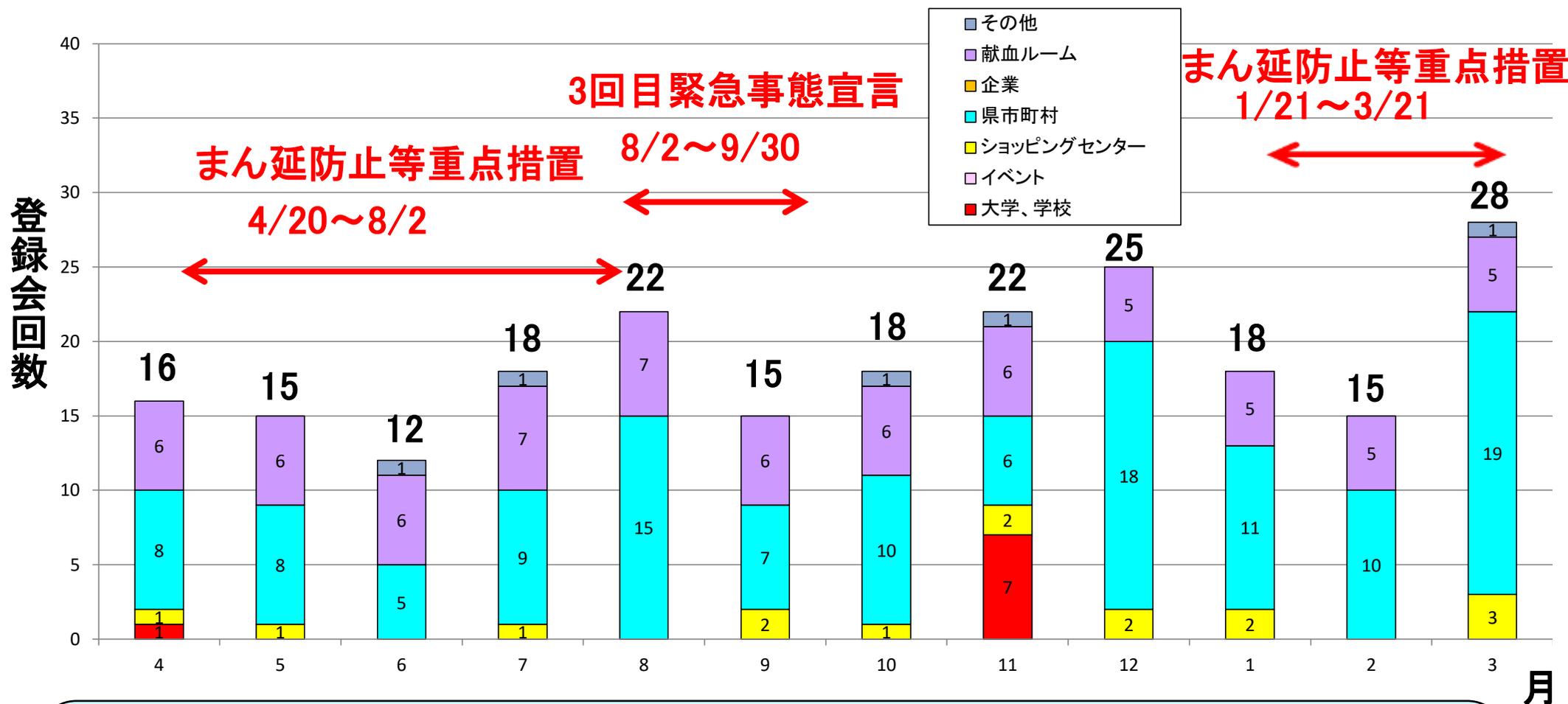
登録会回数



- ◆ 20年度の登録会は、2回のコロナの「緊急事態宣言」発令の中、3密対策の徹底を図り161回実施。
- ◆ 大学、イベントでの開催は、ゼロになった。
- ◆ 県市町村83回、献血ルーム45回、ショッピングセンター27回。



# 21年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆ 21年度の登録会は、8月2日～9月30日まで「緊急事態宣言」があったが、感染防止対策で224回実施。
- ◆ イベント、企業での開催ゼロ。大学8回復活の兆しなし。
- ◆ 県市町村126回、献血ルーム70回、ショッピングセンター15回、他5回。



# 説明員募集への千葉県の支援

21年10月14日(木) 熊谷知事定例記者会見



## 骨髓バンク推進月間

- ◆ドナー登録についての協力依頼
- ◆ドナー登録説明員の募集

「ちば県民だより」(21年10月5日発行)

### 骨髓バンクにご協力を 「あなたの勇気が命をつなぎます」

国内では毎年約2千人の方が骨髓バンクを介してドナー(提供者)を探しています。しかしながら、骨髓移植などには患者さんとドナーの白血球の型(HLA型)が合致しなければならず、その確率は数百~数万分の一といわれています。



一人でも多くの患者さんが移植を受けられるよう、骨髓バンクへのドナー登録をお願いします。

#### ◆登録できる場所(事前に電話で申し込み)

県内の各献血ルーム、  
長生・君津・印旛健康福祉センター(保健所)  
長生健康福祉センター ☎0475(22)5167  
君津健康福祉センター ☎0438(22)3743  
印旛健康福祉センター ☎043(483)1133

#### ◆骨髓移植ドナー支援事業

ドナーやそのドナーが従事する事業所に対し、助成金を交付している市町村もあります。

詳しくはお住まいの市役所・町村役場の担当窓口にお問い合わせください。

問い合わせ (公財)日本骨髓バンク ☎03(5280)1789  
県業務課 ☎043(223)2614

◆長年の要望事項「説明員募集」に対して熊谷知事から定例記者会見、「ちば県民だより」で支援がありました。



# ドナー説明員研修会の様子

21.7.29津田沼献血ルーム



21.11.24津田沼献血ルーム



21.12.17津田沼献血ルーム



22.1.19津田沼献血ルーム



22.2.16船橋市民活動サポートセンター



- ◆21年度は、**9名の方にドナー説明員研修会**を実施した。
- ◆**7名が千葉の会会員**になった。



SNOWBANK PAY IT FORWARD 2021 (東京雪祭) で登録会と普及啓発  
(21.11.13~14 代々木公園)

開始前のミーティング



ゲレンデに多くの観客が



スノーボーダーの滑り



登録者が次から次へ



普及啓発活動、グッズ販売



ステージの活動



- ◆登録者 121名、献血者 402名。総責任者 梅田
- ◆千葉、東京、神奈川、埼玉のボランティア延べ32名が協働



# 東京新都心ライオンズクラブ主催の献血会場で献血併行登録会 (22. 4. 10 新宿中央公園 水の広場)

開始前のミーティング



献血に多くの方が



ライオンズさんのテント



登録者が次から次へ



高層ビル群と献血会場全景



参加者全員で記念撮影

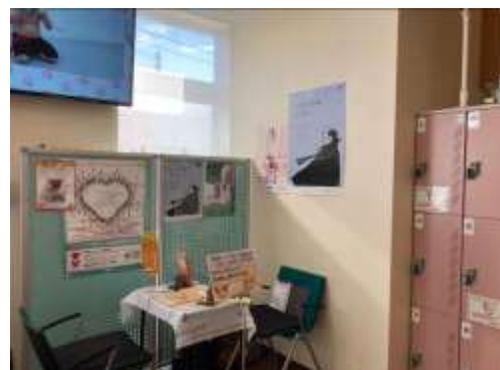
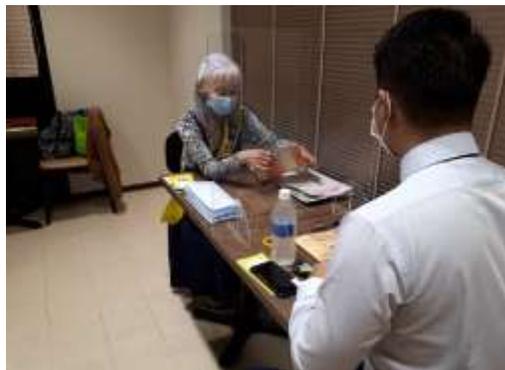


- ◆コロナのため21年度は開催が22年4月10日に延期された
- ◆登録者 **37名**、献血者 **93名**。総責任者 **梅田**
- ◆**千葉**、東京、神奈川、協議会のボランティア **14名**が協働



# 献血ルームでの献血併行登録会

モノレールちば駅献血ルーム(21.4.15、11.15) 松戸献血ルーム(21.11.17) 津田沼献血ルーム(21.9.7)



柏献血ルーム(21.10.8、12.8)

船橋献血ルームフェイス(21.7.21、21.8.30)



- ◆コロナ禍だが5ルームで**5~7回/月**開催。
- ◆21年度は**70回**開催。(昨年度は**45回**)



# 県市町村役場、保健センターでの献血併行登録会

千葉県庁(21.8.13、22.1.4)



柏市役所(21.5.7)



千葉市役所(22.1.7)



船橋市役所(21.8.23)



勝浦市役所(21.5.11)



八千代市役所(21.10.26)



君津市保健福祉センター  
(22.1.27)



- ◆コロナ禍だが**6～19回/月**開催。開催を**強化**。
- ◆21年度は**126回**開催。(昨年度は**83回**)



# ショッピングセンターでの献血併行登録会

イオンモール幕張新都心(21.4.29)



イオンタウン木更津朝日  
(21.6.19)



- ◆コロナ禍で **1~3回/月** しか開催できず。
- ◆21年度は**15回**開催。(昨年度は**27回**)



# 大学での献血併行登録会

明海大学(21.4.30)



千葉工業大学(21.11.11)



千葉大学(21.11.24、11.26、11.30)



◆コロナ禍でほとんど開催できず。復活したい。  
◆21年度は**8回**開催。(昨年度は**0回**)



# その他会場（病院）での献血併行登録会

君津中央病院(21.6.17)



成田赤十字病院(21.10.27)



千葉大学病院(21.7.7、11.24、3.16)

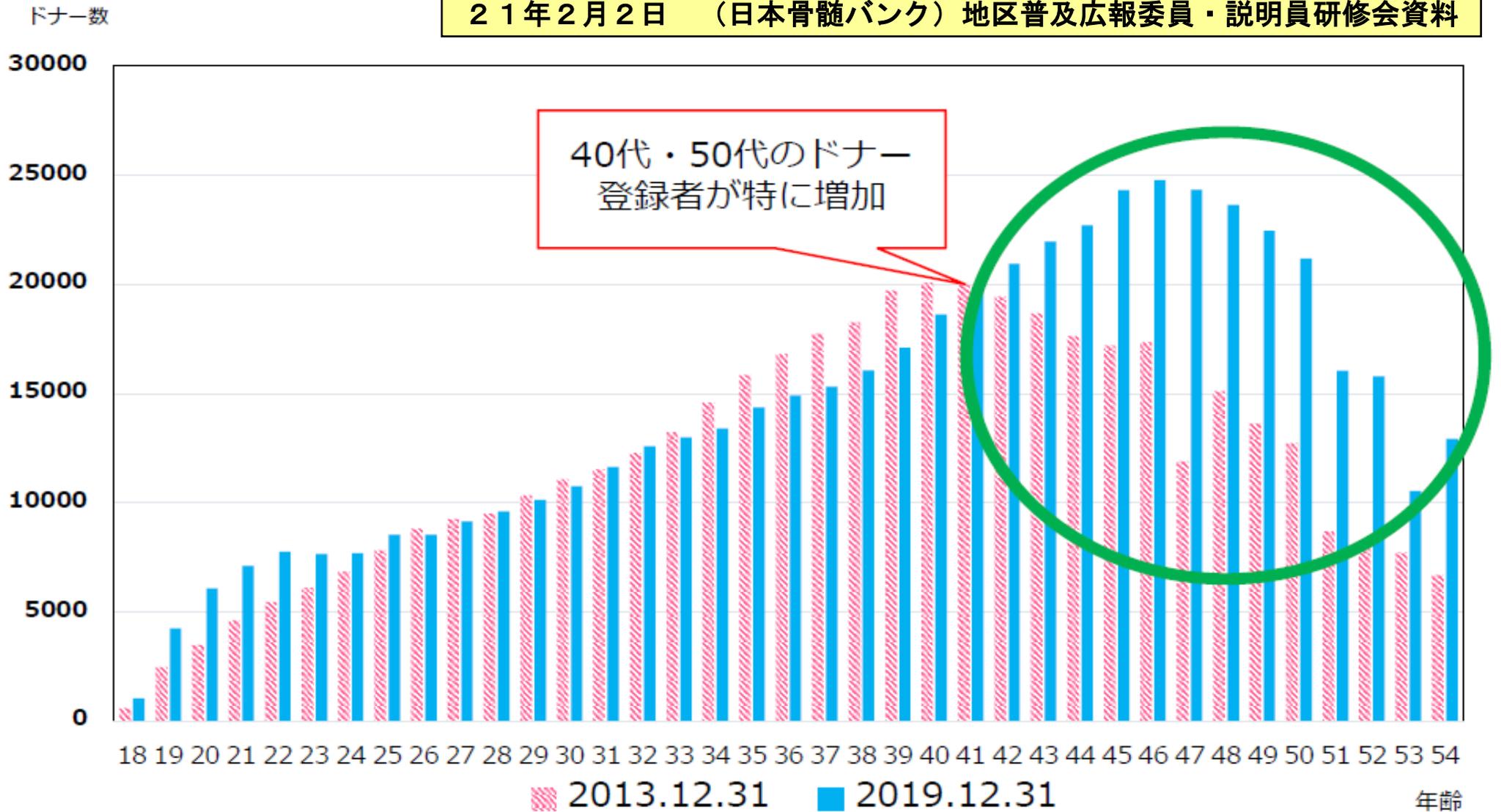


- ◆コロナ禍であったが病院で開催した。
- ◆21年度は**5回**開催。(昨年度は**3回**)



# ドナー登録者の年齢比較

21年2月2日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料



**若年層への取り組み強化が必要**



# ドナーを支える両輪

21年2月2日 (日本骨髄バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料

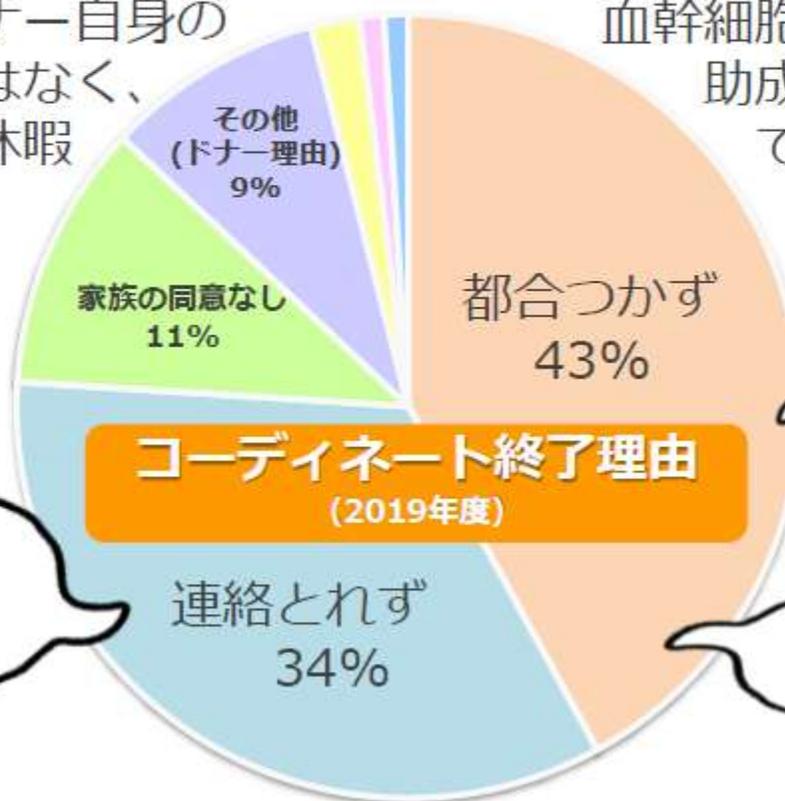
## ドナー休暇制度

ドナーが提供までに要する検査や面談・入院等の日数を、ドナー自身の有給休暇を使用するのではなく、勤務先がその休日を特別休暇として認める制度です。現在、625企業・団体の導入を確認しています。  
(※2020年12月9日現在)

## ドナー助成制度

骨髄バンクを介して骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーに対して助成金を支給する制度が広がっています。導入している市区町村は全国で735です。  
(※2020年11月末日現在)

### コーディネーター終了理由 (2019年度)



「育児のため」

「仕事が忙しくて休めない」

確認の手紙送付や電話をしても連絡がとれない

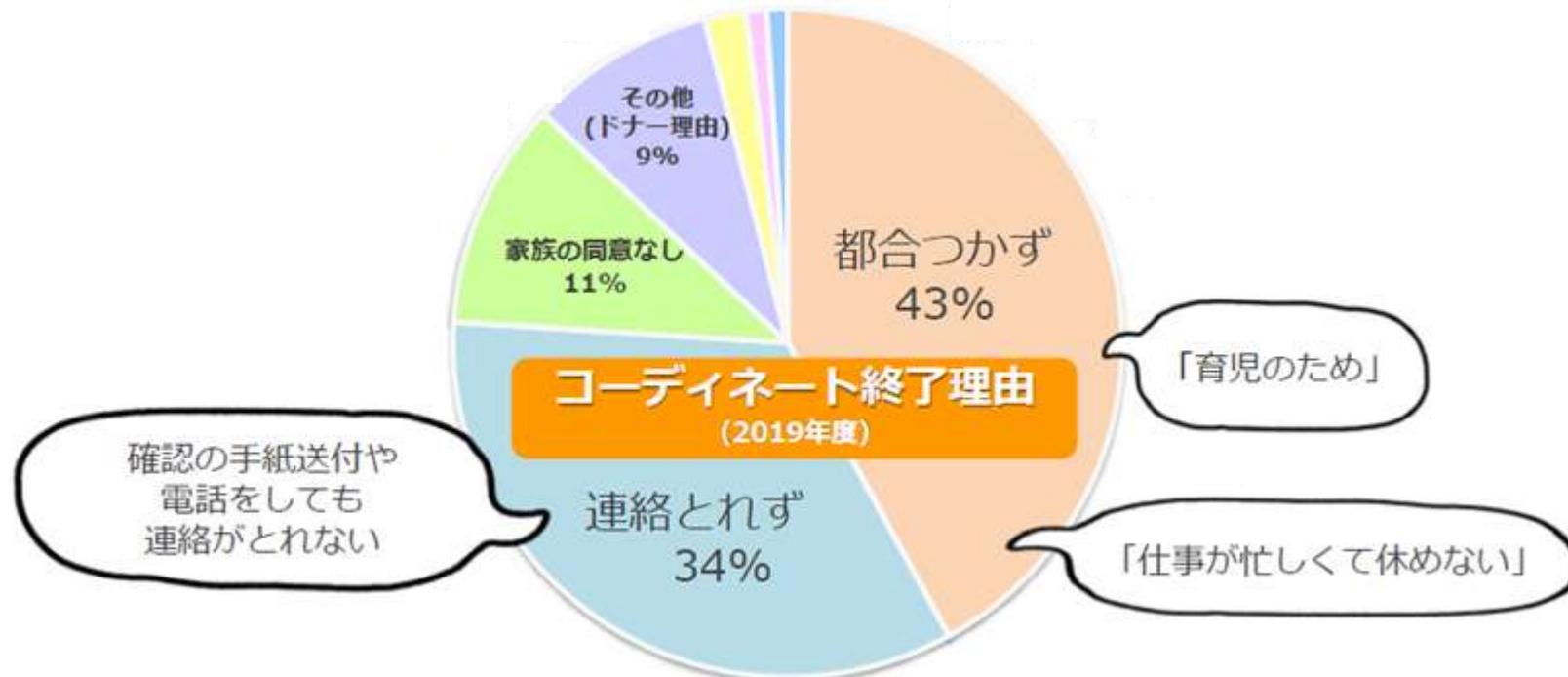


# 骨髓バンクの今後の課題

## 課題

骨髓移植を希望した患者さんの**60%弱**しか移植を受けられない。

## ドナーの原因





# 課題への方策

## 方策(ドナーが原因の対応)

◆都合つかず ⇒ 休めない

**ドナー助成制度導入、ドナー休暇制度導入**

◆連絡取れず ⇒ ドナーリテンション

登録者の**提供意思**の維持

◆家族の同意なし ⇒ **普及啓発**、広報等の強化

◆その他

\*ドナー登録者減(**ドナ一定年増**) ⇒ **登録会増**

\***健康理由** ⇒ **若年層ドナー増**

**大学での登録会増**



# ドナー登録取り消し者数の推移

22年2月22日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料

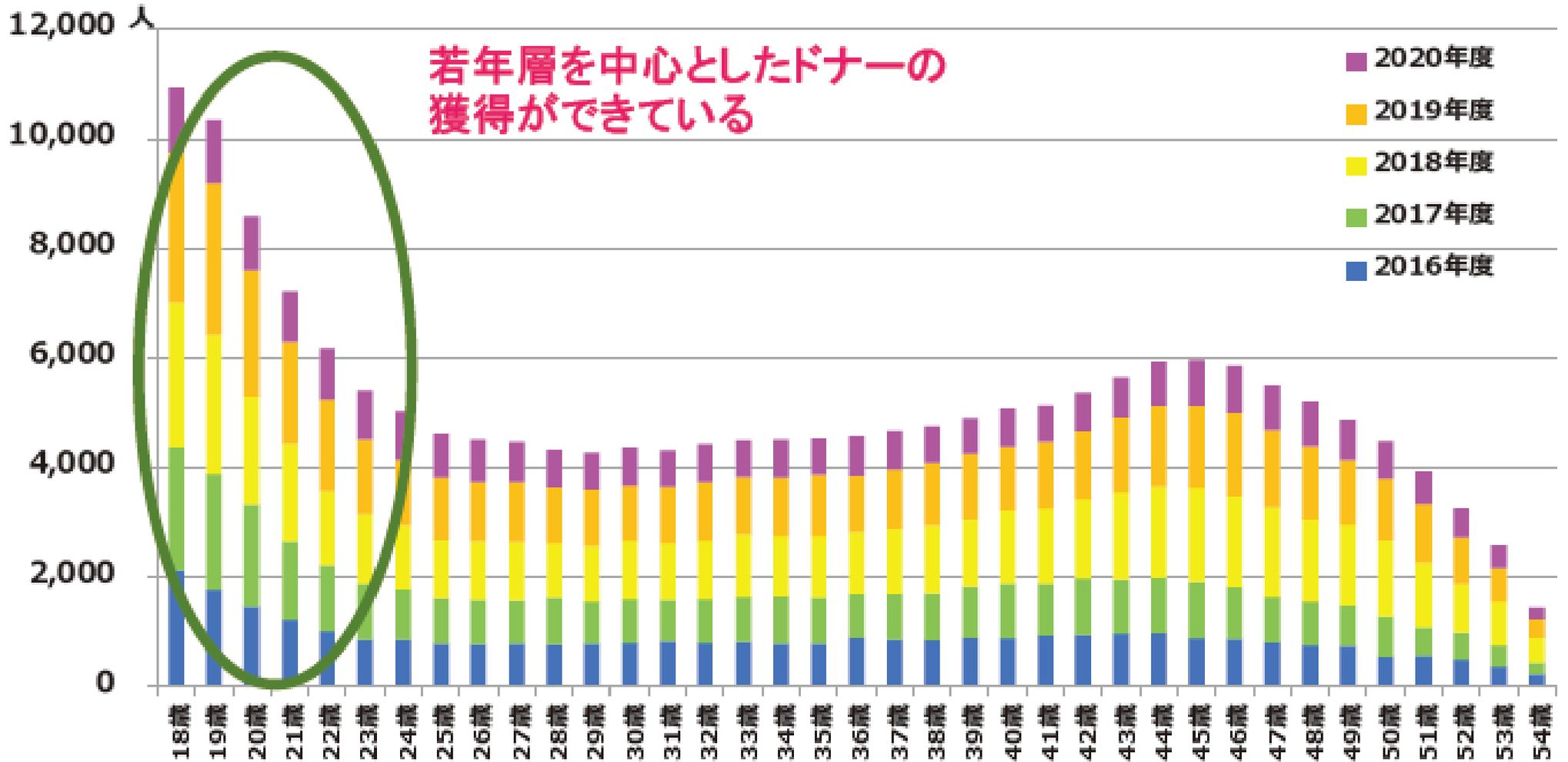
近年は、毎年2万人以上が取消。2020年度は、純増979人





# 年齢別新規ドナー登録者数(全国計)

22年2月22日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料





# 千葉県のドナー助成制度の現状①

## ◆ドナー助成制度とは

平成23年度に新潟県加茂市で初めて導入されて以来、全国の自治体が導入する骨髓提供者を支援するための**骨髓移植ドナー支援事業助成金制度**。

## ◆千葉県の助成補助制度の概要

- \* 同制度(事業)は、**17年8月4日導入**され、**17年4月**に遡って適用された。  
骨髓・末梢血幹細胞移植の促進のため、**①ドナー及び②そのドナーの従事する事業所**に対して市町村が助成金を交付した際に、その金額の**1/2を補助**する制度。

## ◆千葉県内のドナー助成制度導入の市町村(22年4月15日現在)

- \* 54市町村中、51市町が**導入**。導入率**94%**。
- \* 習志野市: ドナーに**10万円/回**、ドナーの勤務する会社に**5万円/回**
- \* 船橋市: ドナーに**2万円/日(7日上限)**、ドナーの勤務する会社に**1万円/日(7日上限)**

## ◆千葉県内の最近10年間の骨髓提供者数 (概ね人口約12万人当たり1人の提供者)

20年度:61人、19年度:46人、18年度:46人、17年度:52人、16年度:47人、15年度:43人、14年度:55人、13年度:55人、12年度:46人、11年度:44人



# 千葉県のドナー助成制度の現状②

関東7都県の骨髓バンク・ドナー助成制度導入状況

令和4年4月15日現在

| 順位 | 都県   | 市町村数      | ドナー助成制度<br>導入数 | 導入率<br>(%) | 県の補助制度導入時期 |
|----|------|-----------|----------------|------------|------------|
| 1  | 埼玉県  | 63        | 全市町村           | 100        | 平成26年度から   |
| 1  | 群馬県  | 35        | 全市町村           | 100        | 平成28年度から   |
| 1  | 栃木県  | 25        | 全市町村           | 100        | 平成29年度から   |
| 4  | 茨城県  | 44        | 43             | 98         | 平成28年度から   |
| 5  | 千葉県  | 54        | 51             | 94         | 平成29年度から   |
| 6  | 東京都  | 62(23区含む) | 50             | 81         | 平成27年度から   |
| 7  | 神奈川県 | 33        | 21             | 64         | 平成30年度から   |

(注) 全国では **841** 市区町村が導入。

- ◆千葉県は、21年度に**2市が導入**し、年度末導入率は**91%**。
- ◆22年4月に**神崎町、香取市が導入**し、導入率は**94%**。
- ◆未導入は、**芝山町、銚子市、鋸南町**の3市町になった。
- ◆会員が市町の登録会時に**直接市町の担当**に導入をお願いしている。
- ◆**首長**への手紙、**県市議会議員**に面談し、導入をお願いしている。



# 千葉県のドナー助成制度の現状③ (22.4.15 時点)

54市町村中51で導入 **導入率94%**



21年度は、4月1日に**多古町**、**長南町**の2町が導入したのみ。

22年度の4月1日に**神崎町**、**香取市**が導入した。

## 未導入の市町

**芝山町、銚子市、鋸南町**

(参考) 銚子市は22年4月に導入予定。



# 千葉県でのドナー休暇制度導入について

## ◆ドナー休暇制度

骨髄・末梢血幹細胞提供をする場合、提供までに**8回前後**、**平日**の日中に医療機関へ出向きます。その日数を、ドナー自身の有給休暇を使うのではなく、勤務先がその休日を**特別休暇**として認めるのが「ドナー休暇制度」です。

## ◆ドナー休暇制度導入活動

- \* 18年5月に**千葉県知事名**で県内の**経済関係6団体**に「ドナー休暇制度導入の整備・広報」について依頼書を出状いただきました。
- \* 18年5月に**薬務課長名**で**県内各商工会議所会頭**に「ドナー休暇制度導入の整備」について依頼書を出状いただきました。
- \* 千葉の会では、上記を受けて「**千葉県経営者協会**」を訪問し、導入依頼をしました。その結果同会の**会報442号**に休暇制度の記事が掲載されました。他に「**千葉県中小企業家同友会**」、「**千葉県中小企業団体中央会**」、「**千葉県商工会議所連合会**」を訪ね、導入依頼をしました。
- \* 千葉の会では引き続き**県議会議員**、**市議会議員**と面談し、経済関係団体への働き掛けをお願いしています。

- ◆知事、薬務課長名で関係団体、会頭に制度導入依頼書を出していただいてから**既に4年**になる。**新たな依頼書を出状**いただきたい。
- ◆ドナー休暇制度導入は、**ドナーの環境整備**の観点から国が**19年度に予算事業**として、導入の実態調査や企業訪問し導入依頼をしている。一般企業の導入は**715社**（22年4月15日現在）で大企業の**数%のみ**。

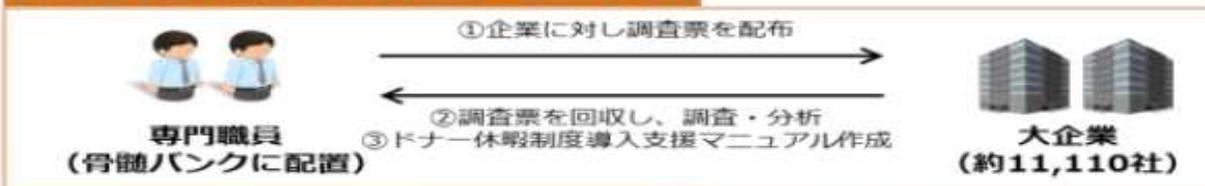


# ドナー環境整備（ドナー休暇制度導入）

21年3月3日 第58回（厚生労働省）造血幹細胞移植委員会資料

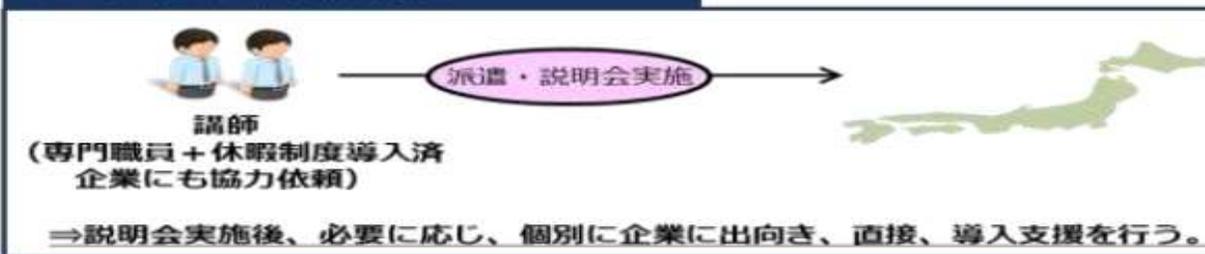
- ドナー登録者が実際にドナー候補となり骨髄等を提供する際には、検査等のために数日間の通院・入院が必要となるため、**働いている方がドナー候補になるには数日間の休暇の取得が必要**となる。
- 現状、ドナー候補として選ばれても、会社の理解が得られないなど、**仕事の都合等を理由にコーディネートを辞退する方が、全体の約3割程度存在**している。
- このため、ドナー登録者が骨髄等を提供しやすい環境整備の一環として、日本骨髄バンクにおいて、**ドナーとなるために必要な休暇を特別休暇として規定すること（ドナー休暇制度）を企業に働きかけ**、また、必要に応じて直接導入支援を行う取組等を行い、コーディネート期間の更なる短縮化を図ることとしている。
- 令和元年度より予算事業として、ドナー休暇制度導入に係る専門職員を日本骨髄バンク内に配置し、経団連等の団体に対して、**実態調査や企業訪問による制度の導入依頼等を実施**している。
- また、経産省及び東京証券取引所が行う「健康経営銘柄」の選定要件に必要な「健康経営度調査」の項目の中に、「**骨髄移植等のドナー休暇制度**」を追加し、企業の健康経営に対する取組を促進するための指標に位置づけることで、企業に対しドナー休暇制度導入の動機付けを図っている。

## STEP 1：企業向け実態調査・マニュアル作成



- ・アンケート調査結果により、企業の休暇制度導入にあたっての問題点・課題を整理。
- ・問題点・課題を踏まえ、ドナー休暇制度導入にあたっての導入支援マニュアルを作成

## STEP 2：企業向け説明会開催



- ・骨髄等移植の認識向上及び重要性を広めるとともに、休暇制度導入済の企業から講師を派遣し、導入にあたってのプロセスやメリット等を説明いただくことにより、説明会参加企業のドナー休暇制度の導入意欲を促進する。
- ・必要に応じ、個別に企業に出向き直接支援を行うことで、企業の実情に即した導入設計を提案する。



## 千葉県造血幹細胞移植推進協議会 (22. 3. 22 ZOOM) での要望

21年度は、前年度に続きコロナ禍のため**多数の行事が中止や延期、ZOOM開催**になりました。また**献血併行登録会も激減**したままで、特に力を入れている**若年層ドナー募集(大学での開催)**も戻りません。コロナが落ち着いたら**活動復活に全面的なご支援**をお願い致します。

1. 県内の**ドナー助成制度未導入の5市町**に引き続き**導入要請**をしていただきたい。
2. **ドナー休暇制度導入**について**県内経済関係団体**へ改めて働きかけをお願いしたい。
3. ドナー一定年者が毎年2万人/年 いる対策として、献血併行登録会を多数開催しているが、**説明員手配に苦慮**している。21年度は熊谷新知事が「県民だより」と「記者会見」で**説明員研修希望者の呼掛け**をいただき、効果があった。21年度も**呼掛け**いただきたい。
4. 千葉の会が**説明員研修会(21年度9名)**を実施しているが、講師の高齢化が進んでいることから薬務課で**研修会開催を企画**いただきたい。
5. 薬務課所管に「**千葉県献血推進協議会**」があるが、委員に「**ドナー登録推進**」の**協力要請**をしていただきたい。
6. **献血併行登録会の改善**について引き続きフォローいただきたい。
  - (1) **登録会場の効率運用と改善**
    - ① **コストパフォーマンスの高い会場**での、効率の良い開催
    - ② **若い献血者**が多い献血会場での登録会開催増
    - ③ **新たな大学、ショッピングセンター**の開拓
  - (2) **献血時の登録会開催の声掛けの徹底**
7. コロナで2年連続で中止とした「**骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会**」は、今年は **11月26日(土)**に成田市文化芸術センターで行うべく計画している。**広報**で支援願いたい。